

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 1-017-03-08
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備のうち
消火設備
(消火系 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)))

(添付書類)

2022年9月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

VI-1 説明書

VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

VI-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

VI-1-1-5-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設）

VI-1-1-5-8-2 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備））

VI-6 図面

9.3 火災防護設備

9.3.2 消火設備

9.3.2.2 ハロゲン化物消火設備

9.3.2.2.2 廃棄物処理建物

- ・ 第9-3-2-2-2-1-1図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その1）
- ・ 第9-3-2-2-2-1-2図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その2）
- ・ 第9-3-2-2-2-1-3図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その3）
- ・ 第9-3-2-2-2-1-4図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その4）
- ・ 第9-3-2-2-2-1-5図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その5）
- ・ 第9-3-2-2-2-1-6図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その6）
- ・ 第9-3-2-2-2-1-7図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その7）
- ・ 第9-3-2-2-2-2-1図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その1）
- ・ 第9-3-2-2-2-2-2図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その2）
- ・ 第9-3-2-2-2-2-3図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その3）
- ・ 第9-3-2-2-2-2-4図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その4）
- ・ 第9-3-2-2-2-2-5図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その5）

- ・第9-3-2-2-2-2-6図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その6）
- ・第9-3-2-2-2-2-7図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その7）
- ・第9-3-2-2-2-2-8図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その8）
- ・第9-3-2-2-2-2-9図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その9）
- ・第9-3-2-2-2-2-10図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その10）
- ・第9-3-2-2-2-2-11図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その11）
- ・第9-3-2-2-2-2-12図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その12）
- ・第9-3-2-2-2-2-13図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その13）
- ・第9-3-2-2-2-2-14図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その14）
- ・第9-3-2-2-2-2-15図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その15）
- ・第9-3-2-2-2-2-16図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その16）
- ・第9-3-2-2-2-3-1図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その1）
- ・第9-3-2-2-2-3-2図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その2）
- ・第9-3-2-2-2-3-3図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その3）
- ・第9-3-2-2-2-3-4図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その4）
- ・第9-3-2-2-2-3-5図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その5）
- ・第9-3-2-2-2-3-6図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（その6）
- ・第9-3-2-2-2-4-1図 廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベ構造図
- ・第9-3-2-2-2-4-2図 B-計装用電気室，B-バッテリー室，230Vバッテリー室，充電器室用ハロゲン化物ボンベ構造図

- 第9-3-2-2-2-4-3図 廃棄物処理建物A-ケーブル処理室, 廃棄物処理建物B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-2-4-4図 ケーブルシャフトスペース (S I), ケーブルシャフトスペース (S II), A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-2-4-5図 中央制御室送風機室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-2-4-6図 中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-2-4-7図 コールド計器室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-2-4-8図 補助盤室用ハロゲン化物ボンベ構造図
- 第9-3-2-2-2-4-9図 廃棄物処理建物西側階段室, ベント処理装置室, 廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベ構造図

2.1.1.2.2 廃棄物処理建物

名 称	廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	4
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠 ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠 ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠 ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠 ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なボンベ個数*である 4 個のボンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名	称	B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230Vバッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ボンベ
容	量	ℓ/個
68 以上 (68)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個	数	—
		4

【設 定 根 拠】

(概 要)

火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ボンベは, 以下の機能を有する。

ハロゲン化物ボンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために設置する。

1. 容量の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの容量は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから, 当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。

公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。

2. 最高使用圧力の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は, ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。

3. 最高使用温度の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は, 消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき, 40℃とする。

【設 定 根 拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするボンベ個数*である4個のボンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第20条第3項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名	称	廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベ
容	量	ℓ/個
		68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個	数	—
		9
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベは，以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは，火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう，火災の影響を限定し，早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は，高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから，当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は，ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は，消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき，40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするポンベ個数を設置する設計とする。また、系統分離対策が必要な火災区域は、容器弁の単一故障を考慮し、消防法で要求される必要なポンベ個数*より 1 個多い 9 個のポンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	4
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置するケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベは, 以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから, 当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は, ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は, 消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき, 40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするボンベ個数*である4個のボンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第20条第3項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	中央制御室送風機室用ハロゲン化物ポンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	23
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する中央制御室送風機室用ハロゲン化物ポンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ポンベを使用することから、当該ポンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力は、ポンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なポンベ個数を設置する設計とする。また、系統分離対策が必要な火災区域は、容器弁の単一故障を考慮し、消防法で要求される必要なポンベ個数*より 1 個多い 23 個のポンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名	称	中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ボンベ
容	量	ℓ/個
68 以上 (68)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個	数	—
9		

【設 定 根 拠】

(概 要)

火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。

1. 容量の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。

公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。

2. 最高使用圧力の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。

3. 最高使用温度の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。

【設 定 根 拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なポンベ個数を設置する設計とする。また、系統分離対策が必要な火災区域は、容器弁の単一故障を考慮し、消防法で要求される必要なポンベ個数*より1個多い9個のポンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第20条第3項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名	称	コールド計器室用ハロゲン化物ボンベ
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	2
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置するコールド計器室用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なボンベ個数*である 2 個のボンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名 称	補助盤室用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	8
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する補助盤室用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なボンベ個数を設置する設計とする。また、系統分離対策が必要な火災区域は、容器弁の単一故障を考慮し、消防法で要求される必要なボンベ個数*より 1 個多い 8 個のボンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名	称	廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベ
容	量	ℓ/個
		68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個	数	—
		16
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベは，以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは，火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう，火災の影響を限定し，早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は，高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから，当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は，ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は，消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき，40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするポンベ個数*である 16 個のポンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベ ～ 廃棄物処理建物地下1階北側通路	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベと廃棄物処理建物地下1階北側通路を接続する配管であり、廃棄物処理建物地下1階北側通路内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.2-1ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D1 : 48.6mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230Vバッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は, B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり, B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1, 最高使用温度の設定根拠を T 1, 外径の設定根拠を D 1 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】(続き)

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 48.6mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		B-バッテリー室供給ライン分岐点 ～ B-バッテリー室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリ室、充電器室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管とB-バッテリー室を接続する配管であり、B-バッテリー室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1、最高使用温度の設定根拠をT 1、外径の設定根拠をD 2として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリ室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリ室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 2 : 34.0mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。</p>		

名	称	230Vバッテリー室供給ライン分岐点 ～ 230Vバッテリー室	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
外	径	mm	48.6/42.7
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と 230V バッテリー室を接続する配管であり、230V バッテリー室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 1，D 3 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>			

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 48.6mm

D3 : 42.7mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 42.7mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	充電器室供給ライン分岐点 ～ 充電器室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と充電器室を接続する配管であり、充電器室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 2 : 34.0mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*¹ 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*² を 30 秒以内*³ に放射可能であることをメーカーにて確認している 34.0mm とする。</p> <p>注記*¹：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*²：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*³：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称		B-計装用電気室供給ライン分岐点 ～ B-計装用電気室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と B-計装用電気室を接続する配管であり、B-計装用電気室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 1 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、B-計装用電気室、B-バッテリー室、230V バッテリー室、充電器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 1 : 48.6mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 48.6mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名	称	廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外	径	mm
		48.6/76.3
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は，廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり，廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 1，D 4 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は，廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は，廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室，廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 48.6mm

D4 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 76.3mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室を接続する配管であり、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 4 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 4 : 76.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 76.3mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室を接続する配管であり、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 5 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室、廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 5 : 60.5mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 60.5mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 4 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D4 : 76.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。

注記*¹：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*²：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*³：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		ケーブルシャフトスペース (S I) 供給ライン分岐点 ～ ケーブルシャフトスペース (S I)
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概 要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管とケーブルシャフトスペース (S I) を接続する配管であり、ケーブルシャフトスペース (S I) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2. 1. 1. 2. 2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*¹：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*²：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*³：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名	称	ケーブルシャフトスペース (SII) 供給ライン分岐点 ～ ケーブルシャフトスペース (SII)	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
外	径	mm	34.0
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (SI) , ケーブルシャフトスペース (SII) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管とケーブルシャフトスペース (SII) を接続する配管であり、ケーブルシャフトスペース (SII) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、ケーブルシャフトスペース (SI) , ケーブルシャフトスペース (SII) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、ケーブルシャフトスペース (SI) , ケーブルシャフトスペース (SII) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>			

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	A-バッテリー室供給ライン分岐点 ～ A-バッテリー室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と A-バッテリー室を接続する配管であり, A-バッテリー室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2. 1. 1. 2. 2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	A-計装用電気室供給ライン分岐点 ～ A-計装用電気室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5/48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と A-計装用電気室を接続する配管であり, A-計装用電気室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 1 , D 5 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D 1 : 48.6mm

D 5 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 60.5mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	廃棄物処理建物計算機室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物計算機室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5/48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と廃棄物処理建物計算機室を接続する配管であり, 廃棄物処理建物計算機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 1 , D 5 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 48.6mm

D5 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 60.5mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	会議室供給ライン分岐点 ～ 会議室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と会議室を接続する配管であり, 会議室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名	称	予備室供給ライン分岐点 ～ 予備室	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
外	径	mm	34.0
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と予備室を接続する配管であり, 予備室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>			

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*¹：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*²：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*³：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		補助盤室前通路供給ライン分岐点 ～ 補助盤室前通路
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概 要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と補助盤室前通路を接続する配管であり, 補助盤室前通路内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名	称	運転員控室供給ライン分岐点 ～ 運転員控室	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
外	径	mm	34.0
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と運転員控室を接続する配管であり, 運転員控室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1 , 最高使用温度の設定根拠を T 1 , 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>			

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	中央制御室送風機室用ハロゲン化物ボンベ ～ 中央制御室送風機室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、中央制御室送風機室用ハロゲン化物ボンベと中央制御室送風機室を接続する配管であり、中央制御室送風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 6 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、中央制御室送風機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、中央制御室送風機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 6 : 114.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 114.3mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ポンベ ～ 中央制御室非常用再循環送風機室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ポンベと中央制御室非常用再循環送風機室を接続する配管であり、中央制御室非常用再循環送風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 5 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 5 : 60.5mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 60.5mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	コールド計器室用ハロゲン化物ポンベ ～ コールド計器室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、コールド計器室用ハロゲン化物ポンベとコールド計器室を接続する配管であり、コールド計器室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 3 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、コールド計器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、コールド計器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 3 : 42.7mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 42.7mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	補助盤室用ハロゲン化物ポンベ ～ 補助盤室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5/76.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、補助盤室用ハロゲン化物ポンベと補助盤室を接続する配管であり、補助盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 4，D 5 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、補助盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、補助盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D 4 : 76.3mm

D 5 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 60.5mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名	称	廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外	径	mm
		60.5/76.3/89.1/114.3
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は，廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり，廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1，最高使用温度の設定根拠をT1，外径の設定根拠をD4，D5，D6，D7として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.2-1ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は，廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は，廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】(続き)

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D 4 : 76.3mm

D 5 : 60.5mm

D 6 : 114.3mm

D 7 : 89.1mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 60.5mm, 114.3mm, 89.1mmとする。

注記*1: 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2: 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3: 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	廃棄物処理建物西側階段室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物西側階段室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、廃棄物処理建物西側階段室、ベント処理装置室、廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と廃棄物処理建物西側階段室を接続する配管であり、廃棄物処理建物西側階段室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1、最高使用温度の設定根拠をT 1、外径の設定根拠をD 5として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、廃棄物処理建物西側階段室、ベント処理装置室、廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、廃棄物処理建物西側階段室、ベント処理装置室、廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 5 : 60.5mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 60.5mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称		ベント処理装置室供給ライン分岐点 ～ ベント処理装置室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5/48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管とベント処理装置室を接続する配管であり，ベント処理装置室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP 1，最高使用温度の設定根拠をT 1，外径の設定根拠をD 1，D 5として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は，廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は，廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 48.6mm

D5 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 60.5mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	廃棄物処理建物排風機室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物排風機室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、廃棄物処理建物西側階段室、ベント処理装置室、廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と廃棄物処理建物排風機室を接続する配管であり、廃棄物処理建物排風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 6 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、廃棄物処理建物西側階段室、ベント処理装置室、廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、廃棄物処理建物西側階段室、ベント処理装置室、廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 6 : 114.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 114.3mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表（その1）

名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ポンベ ～ 廃棄物処理建物地下1階北側通路	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 1
B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230Vバッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ポンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 1
B-バッテリー室供給ライン分岐点 ～ B-バッテリー室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
230Vバッテリー室供給ライン分岐点 ～ 230Vバッテリー室	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 1
					42.7	D 3
充電器室供給ライン分岐点 ～ 充電器室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
B-計装用電気室供給ライン分岐点 ～ B-計装用電気室	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 1
廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室, 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 1
					76.3	D 4

表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表（その2）

名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 4
廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
ケーブルシャフトスペース (S I) , ケーブルシャフトスペース (S II) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 4
ケーブルシャフトスペース (S I) 供給ライン分岐点 ～ ケーブルシャフトスペース (S I)	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
ケーブルシャフトスペース (S II) 供給ライン分岐点 ～ ケーブルシャフトスペース (S II)	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2

表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表（その3）

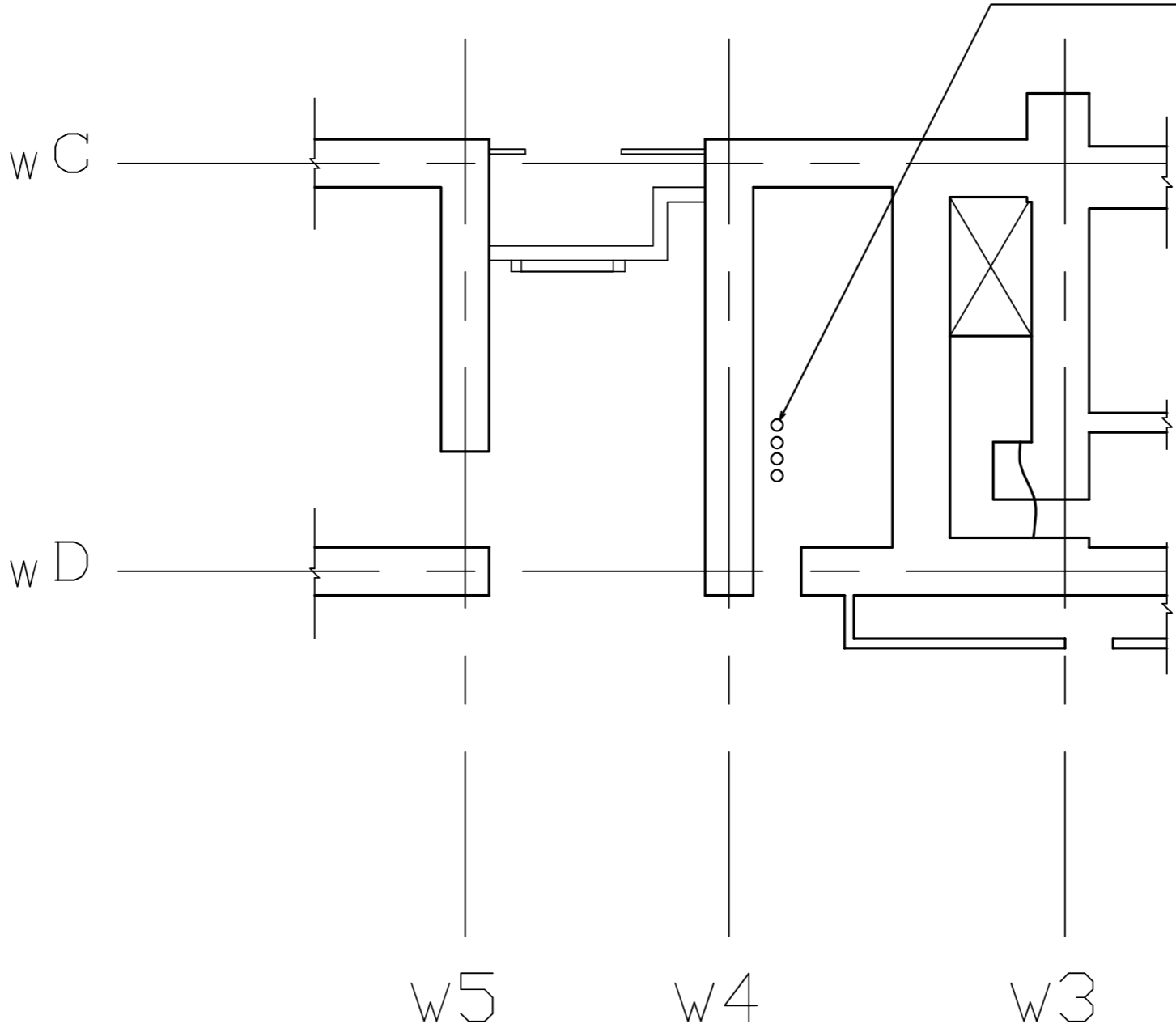
名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
A-バッテリー室供給ライン 分岐点 ～ A-バッテリー室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
A-計装用電気室供給ライ ン分岐点 ～ A-計装用電気室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
					48.6	D 1
廃棄物処理建物計算機室 供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物計算機室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
					48.6	D 1
消 火 系 会議室供給ライン分岐点 ～ 会議室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
予備室供給ライン分岐点 ～ 予備室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
補助盤室前通路供給ライ ン分岐点 ～ 補助盤室前通路	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
運転員控室供給ライン分 岐点 ～ 運転員控室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
中央制御室送風機室用ハ ロゲン化物ボンベ ～ 中央制御室送風機室	5.2	P 1	40	T 1	114.3	D 6

表 2.1.1.2.2-1 ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）主配管の設計仕様表（その4）

名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
中央制御室非常用再循環 送風機室用ハロゲン化物 ポンベ ～ 中央制御室非常用再循環 送風機室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
コールド計器室用ハロゲ ン化物ポンベ ～ コールド計器室	5.2	P 1	40	T 1	42.7	D 3
補助盤室用ハロゲン化物 ポンベ ～ 補助盤室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
76.3					D 4	
廃棄物処理建物西側階段 室，ベント処理装置室， 廃棄物処理建物排風機室 用ハロゲン化物ポンベ出 口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
					76.3	D 4
					89.1	D 7
					114.3	D 6
廃棄物処理建物西側階段 室供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物西側階段 室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
ベント処理装置室供給ラ イン分岐点 ～ ベント処理装置室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
					48.6	D 1
廃棄物処理建物排風機室 供給ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物排風機室	5.2	P 1	40	T 1	114.3	D 6

S2 補 VI-1-1-5-8-2 R0

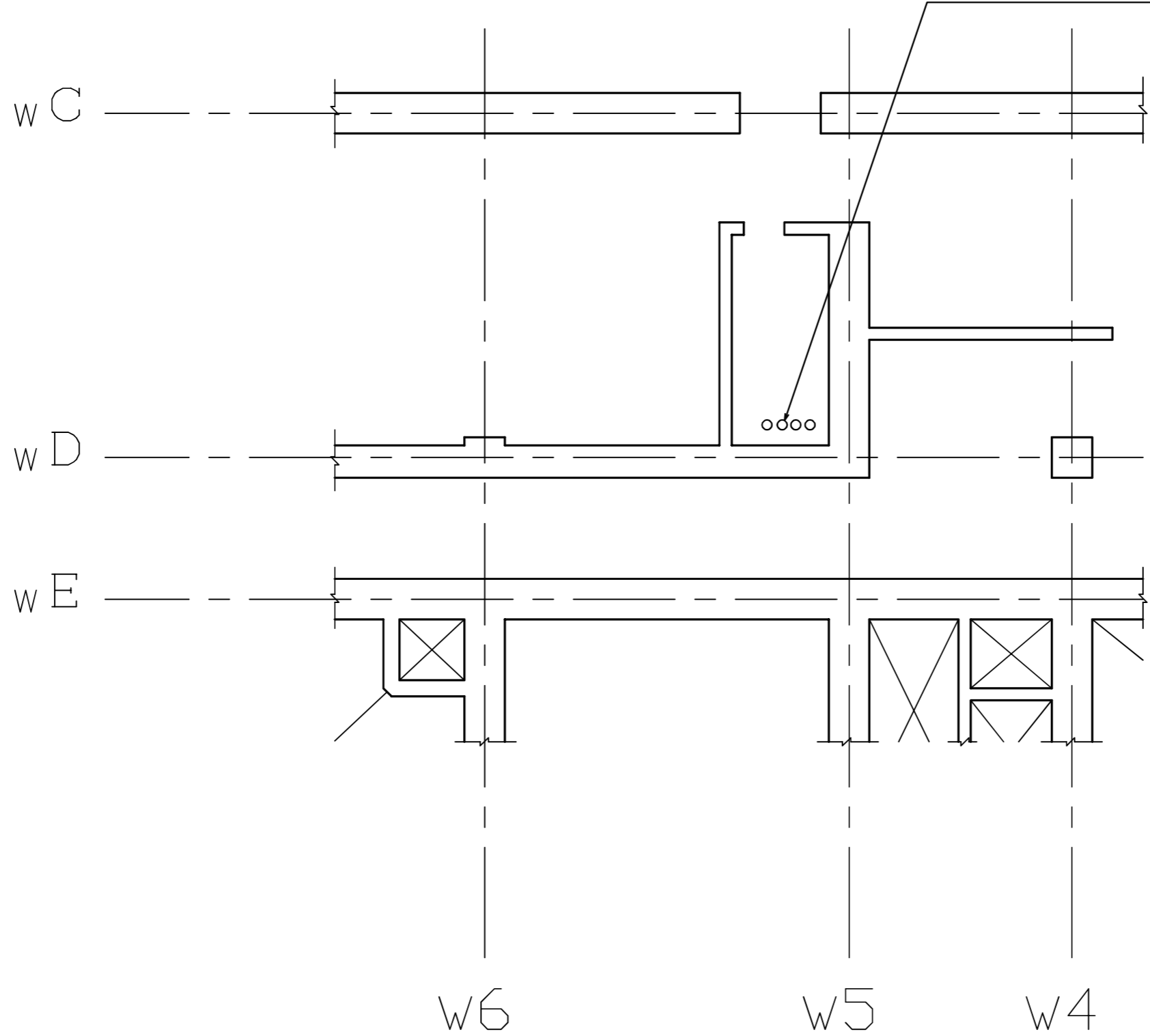
廃棄物処理建物地下1階北側通路用ハロゲン化物ボンベ



廃棄物処理建物 EL 8800

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-1図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その1)
中国電力株式会社	

B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230Vバッテリー室,
充電器室用ハロゲン化物ボンベ

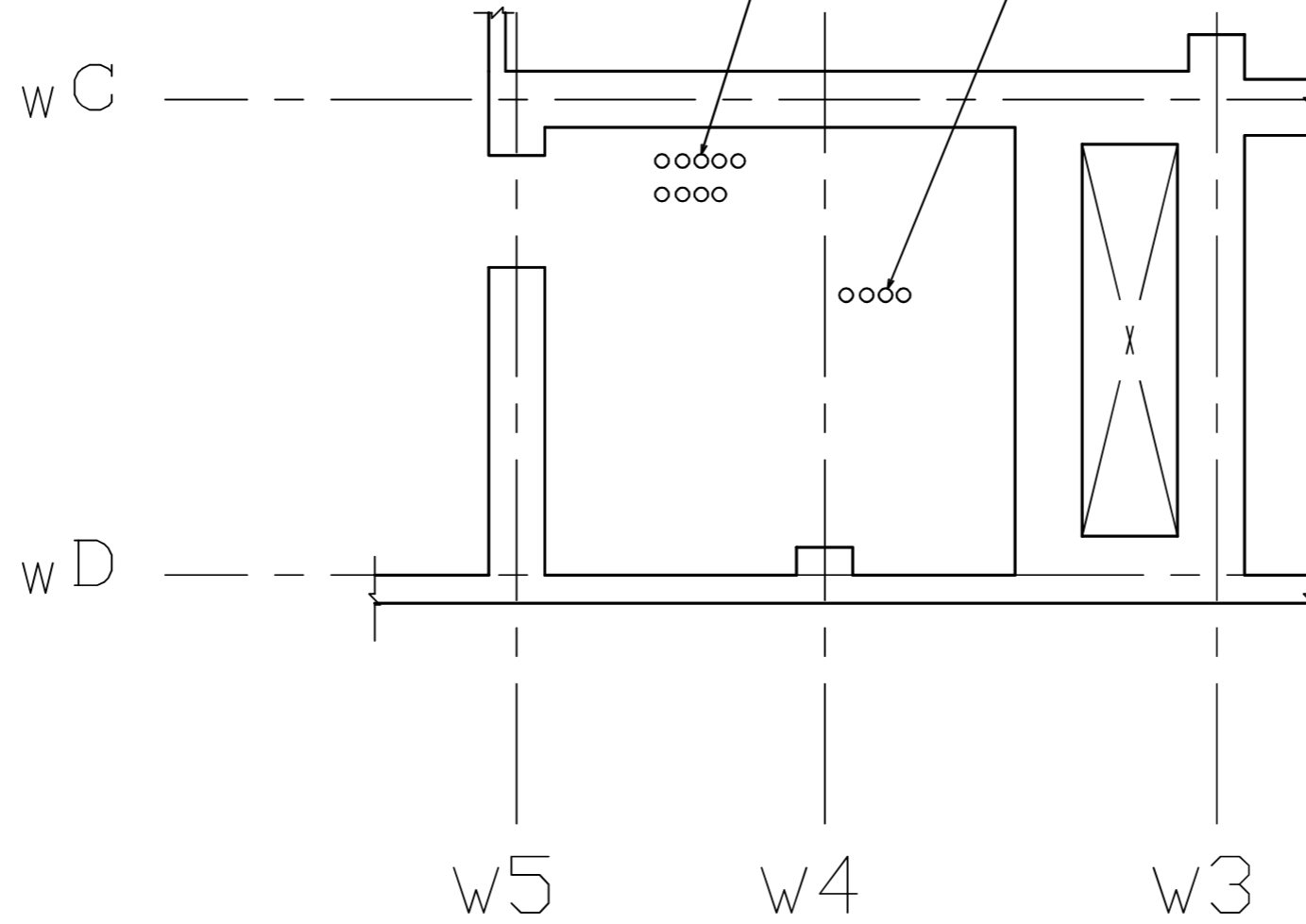


廃棄物処理建物 EL 12300

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-2図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その2)
中国電力株式会社	

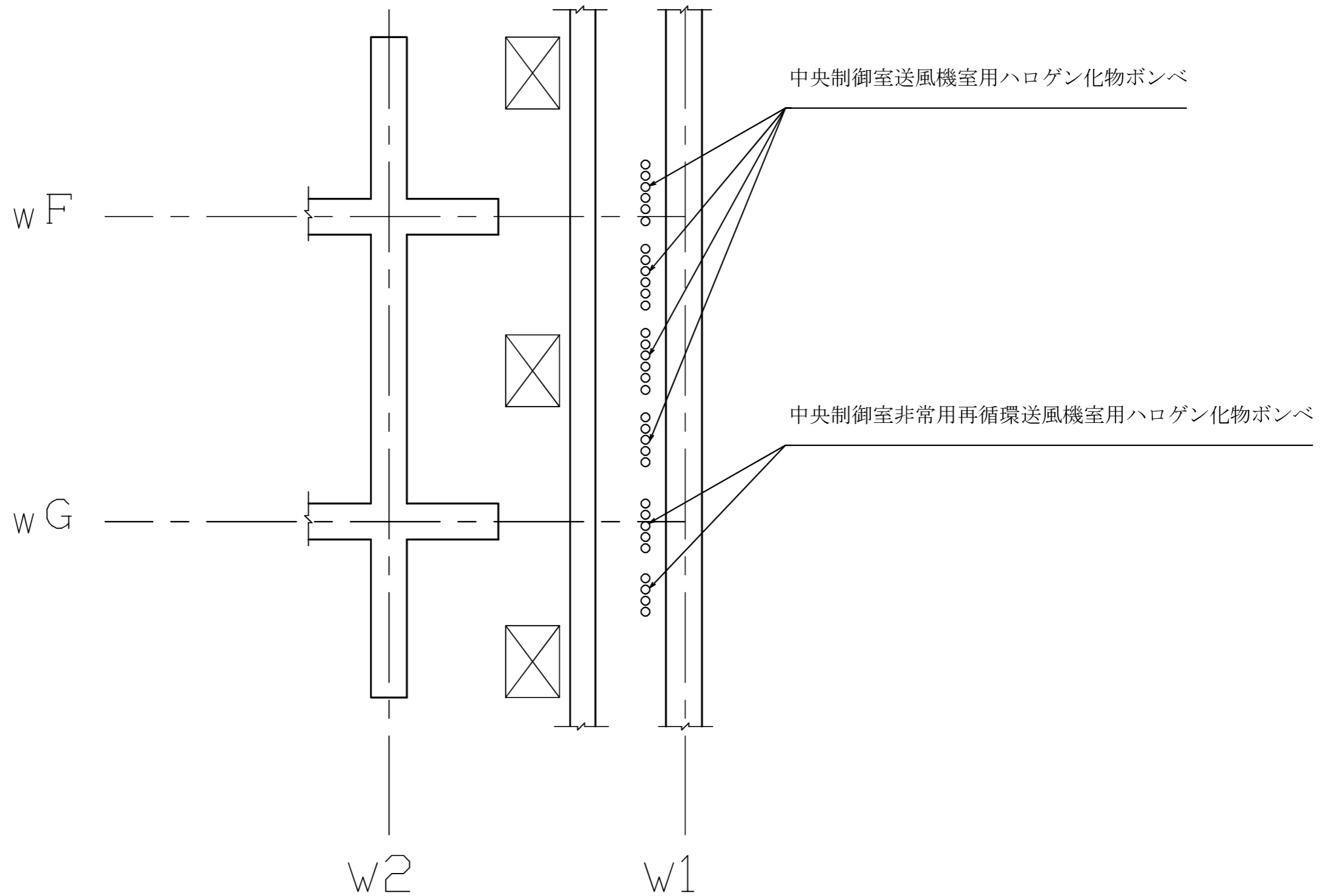
廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室,
 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ボンベ

ケーブルシャフトスペース (S I), ケーブルシャフトスペース (S II),
 A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室,
 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ



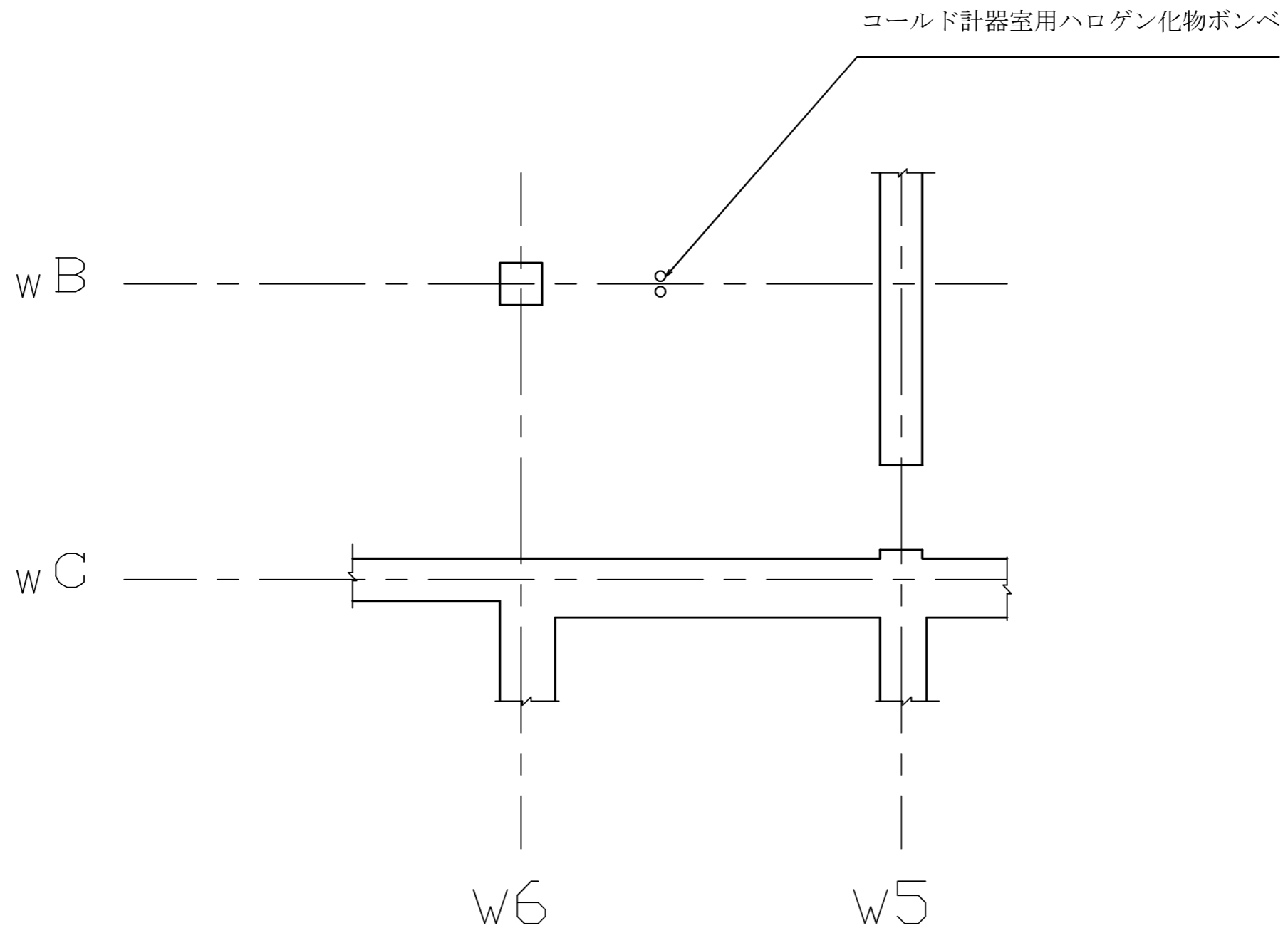
廃棄物処理建物 EL 16930

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-3図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その3)
中国電力株式会社	



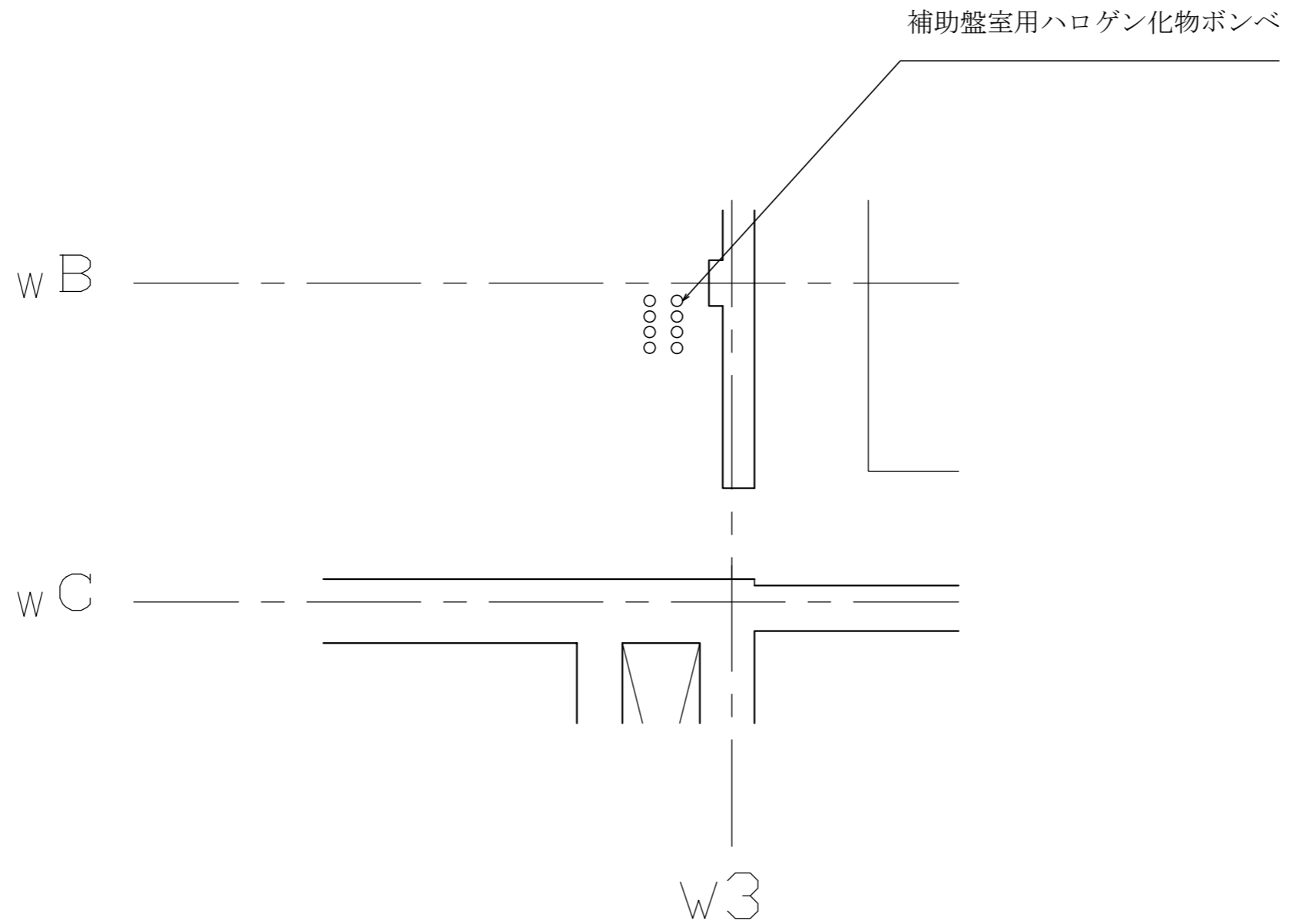
廃棄物処理建物 EL 22100

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-4図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その4)
中国電力株式会社	

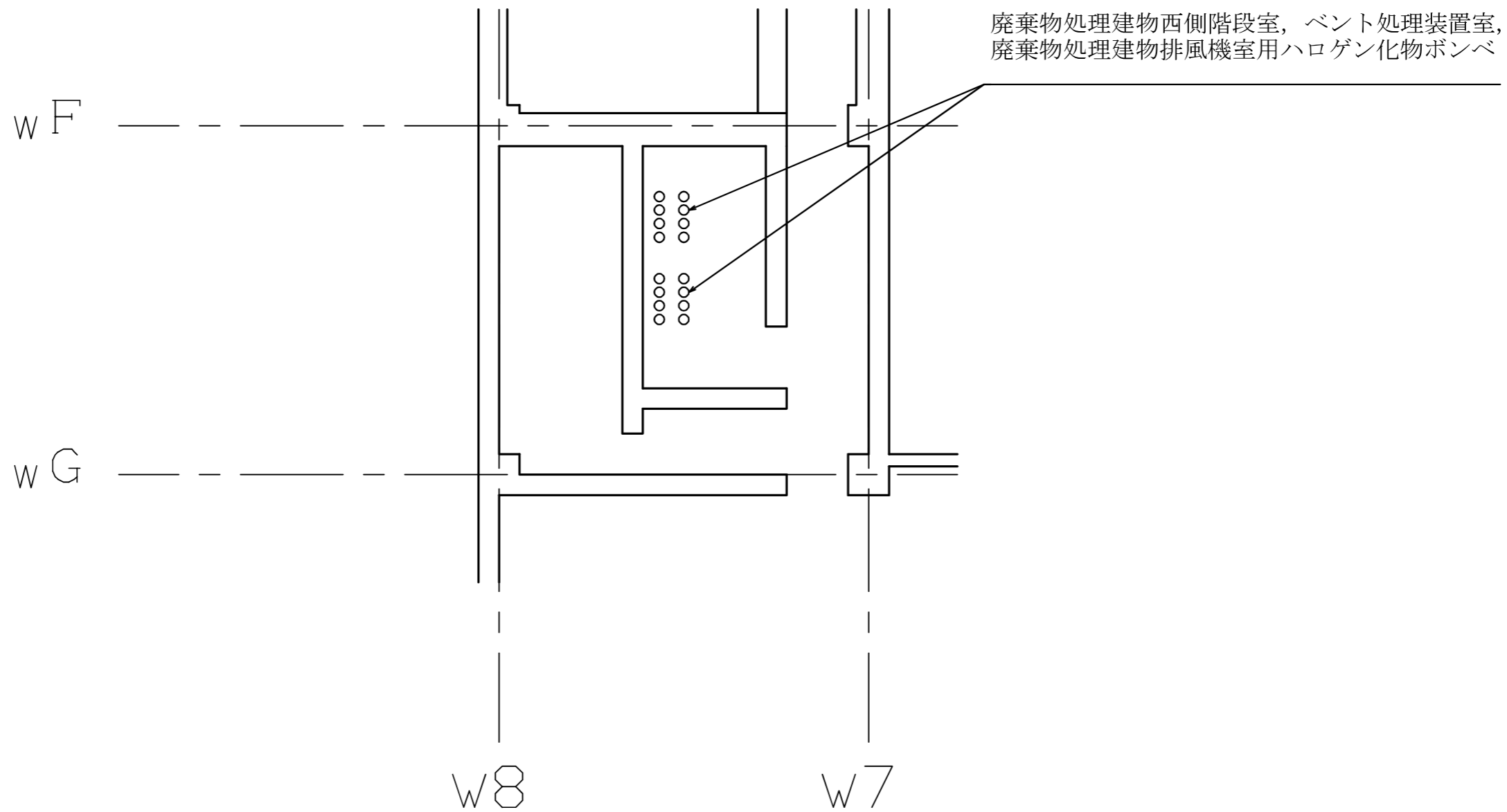


廃棄物処理建物 EL 22150

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-5図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その5)
中国電力株式会社	

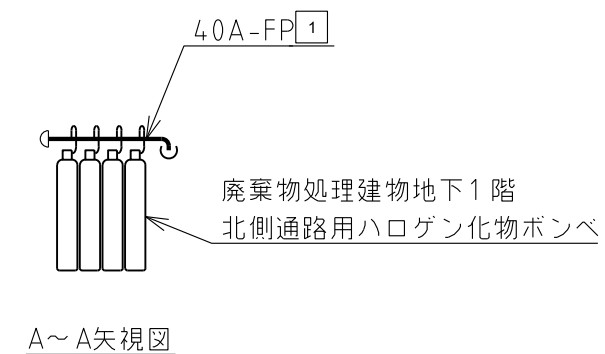
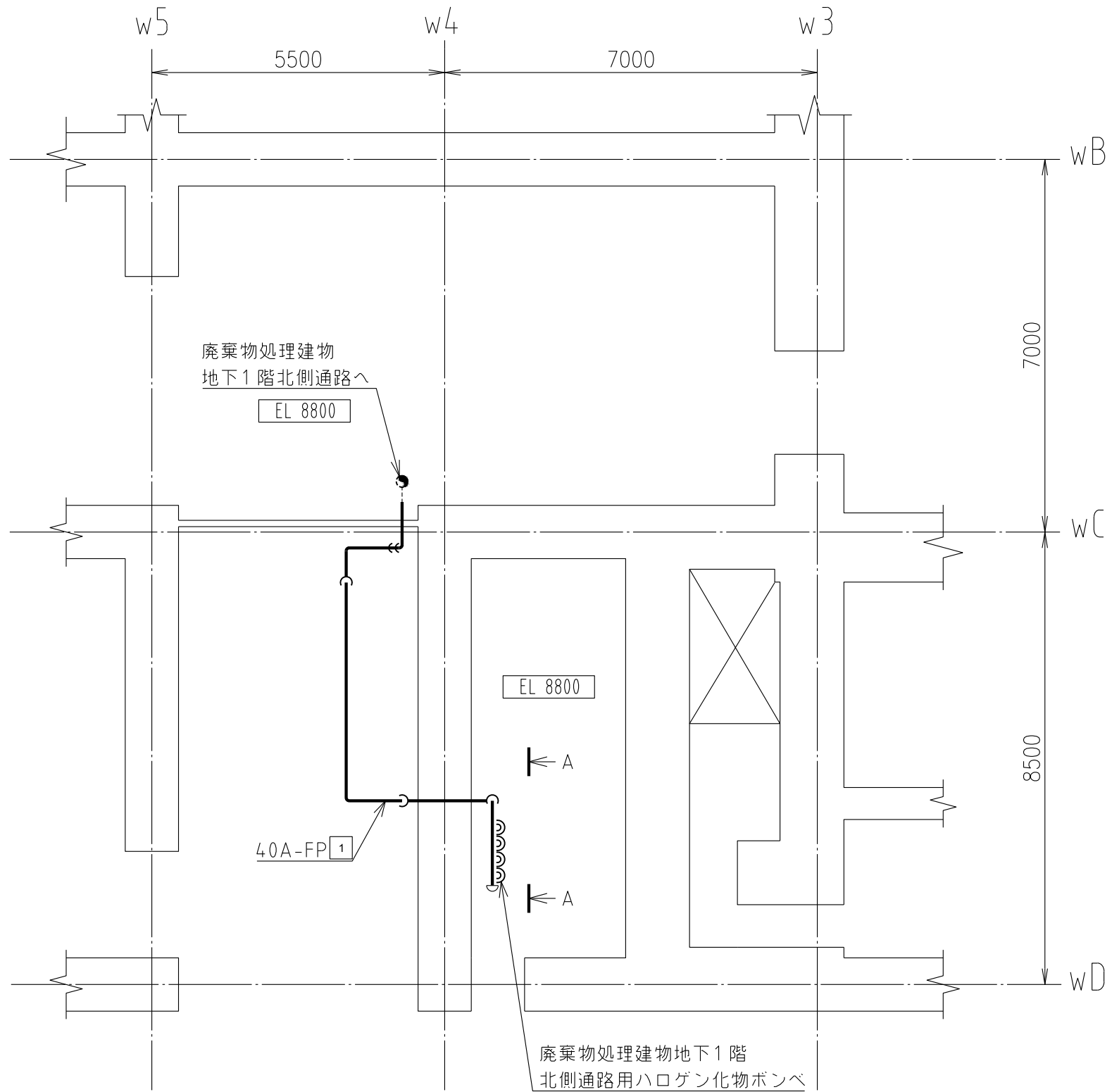
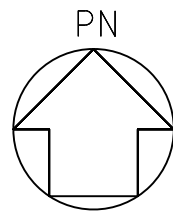


工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-6図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その6)
中国電力株式会社	



廃棄物処理建物 EL 32000

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1-7図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その7)
中国電力株式会社	

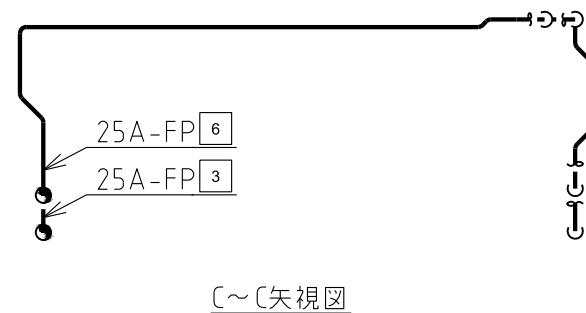
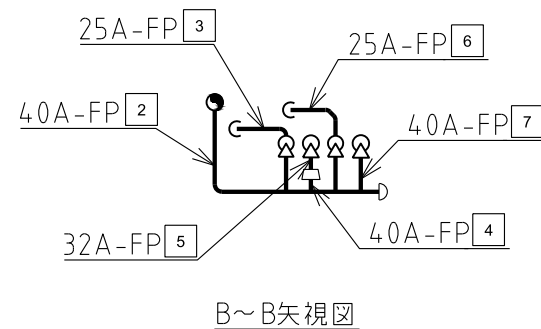
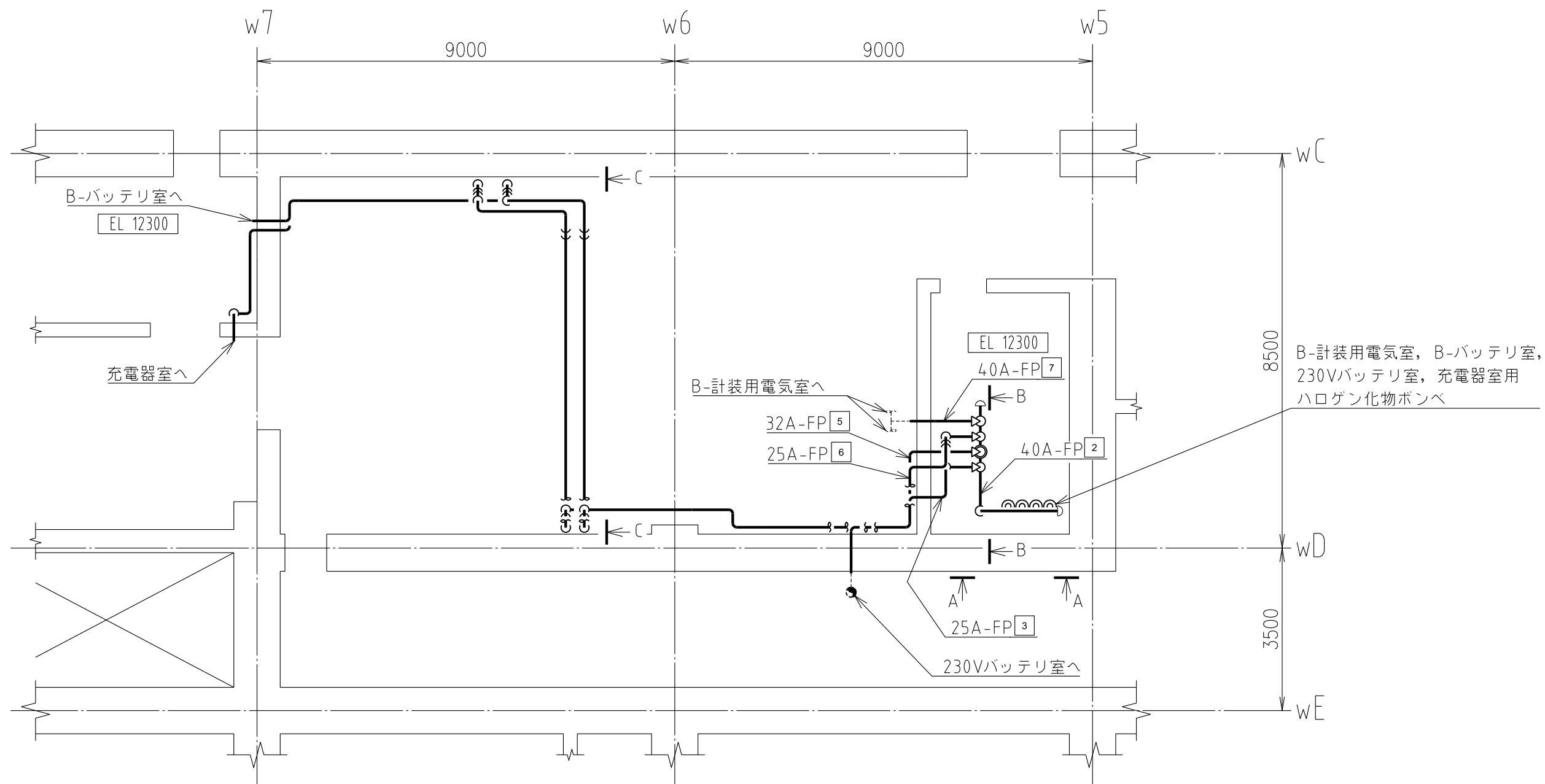
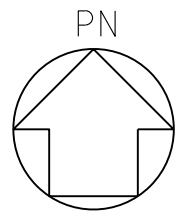


廃棄物処理建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-1図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その1)

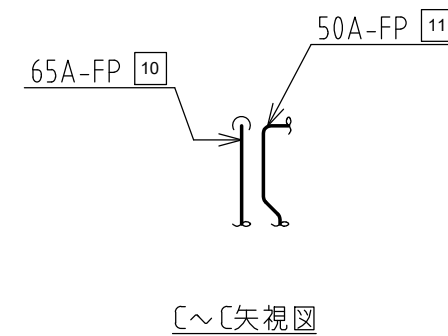
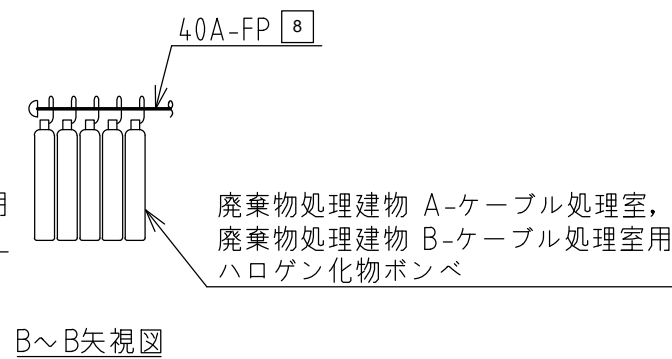
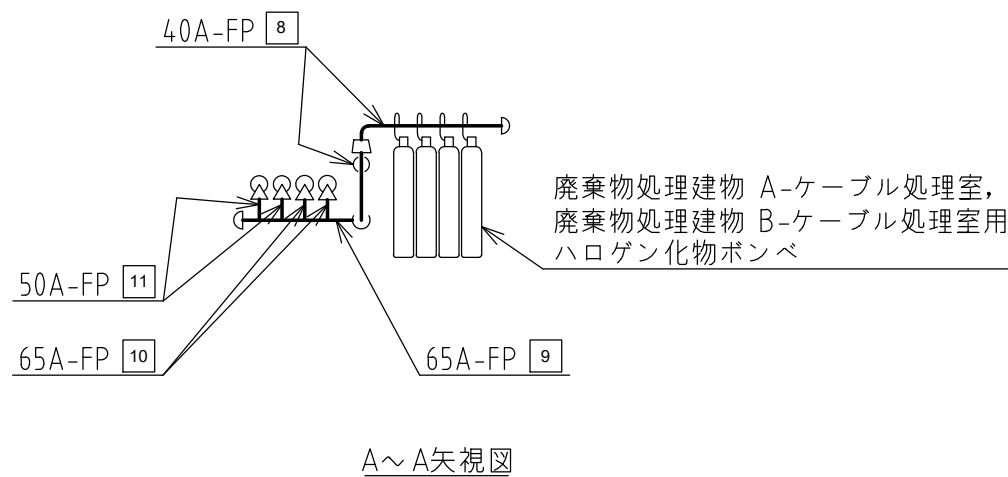
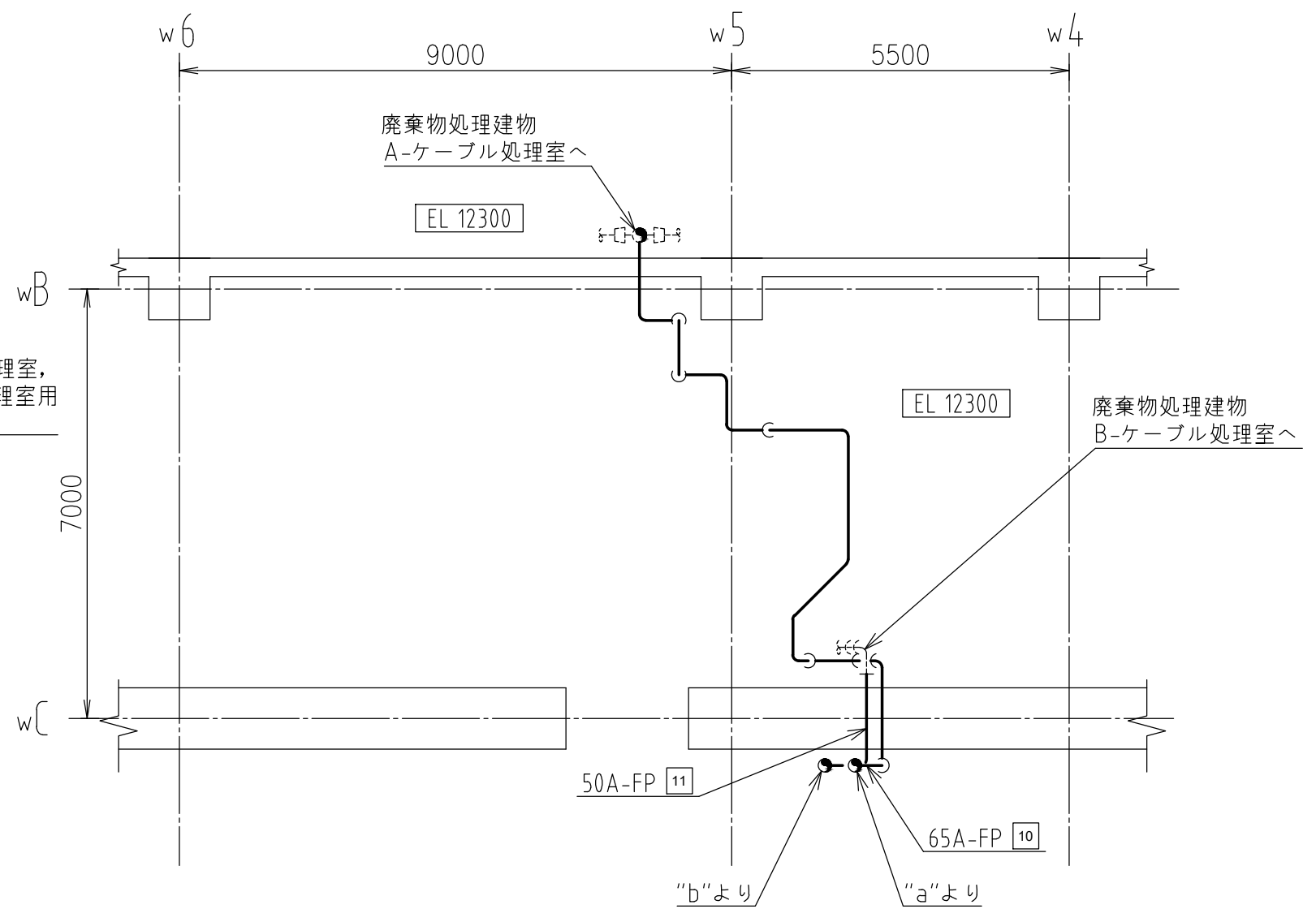
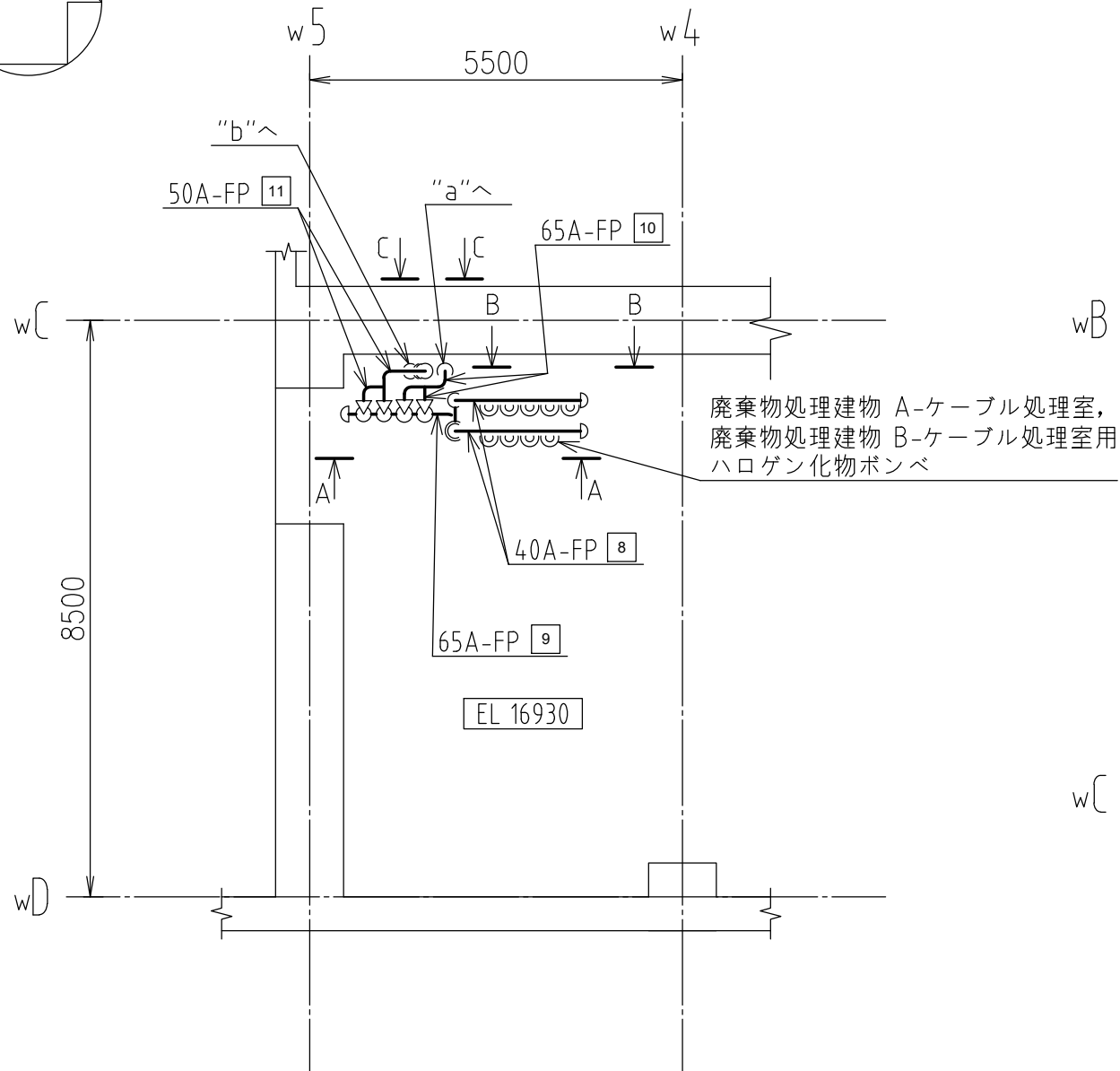
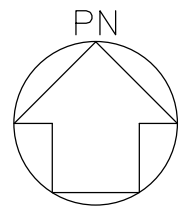
中国電力株式会社

注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。



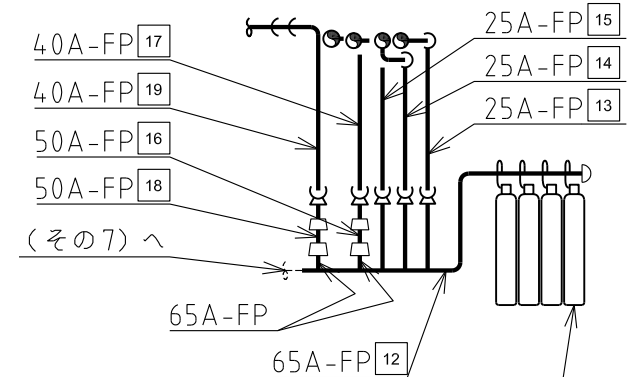
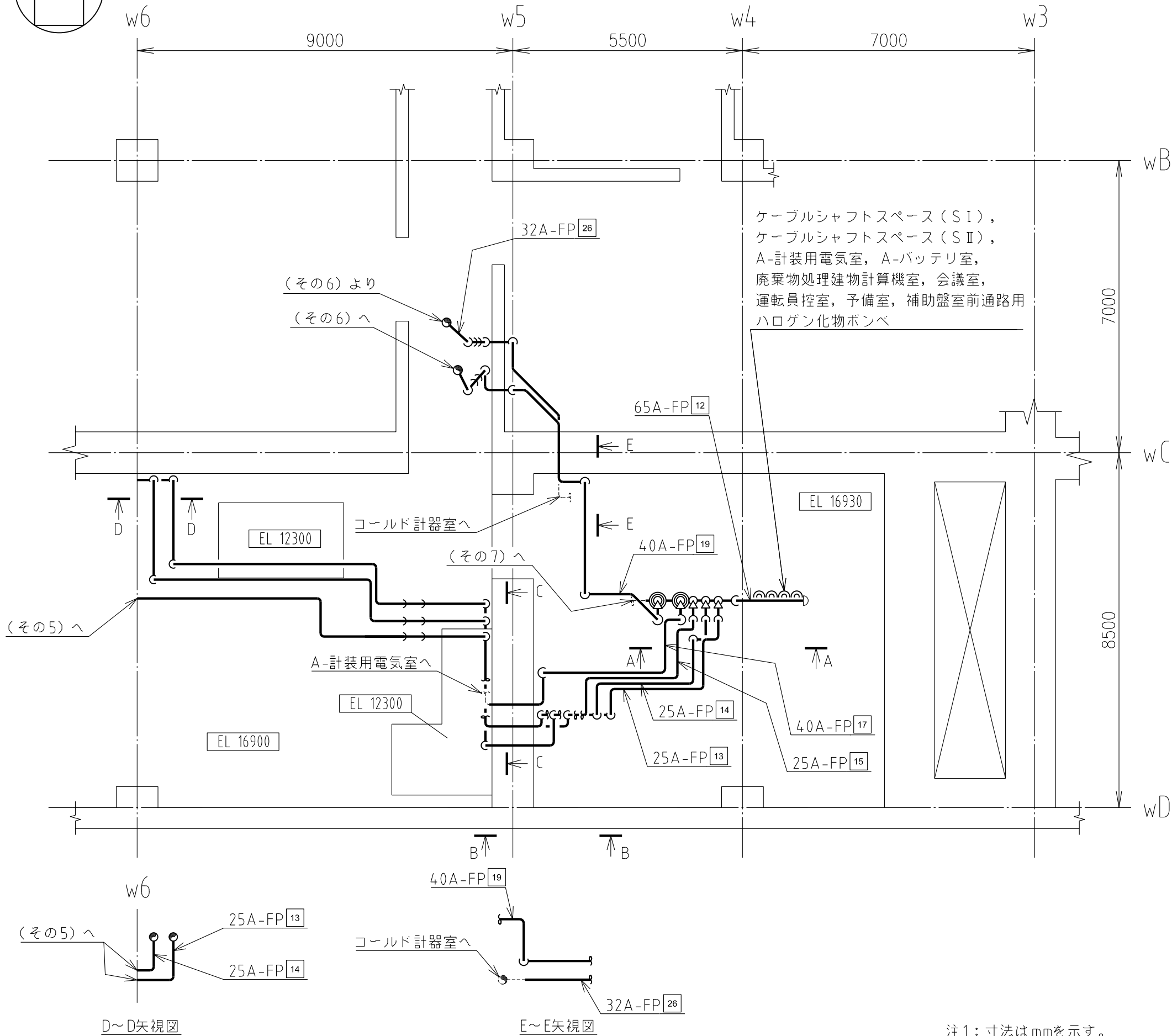
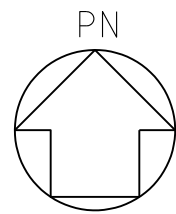
注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-2-2 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その2)
中国電力株式会社	



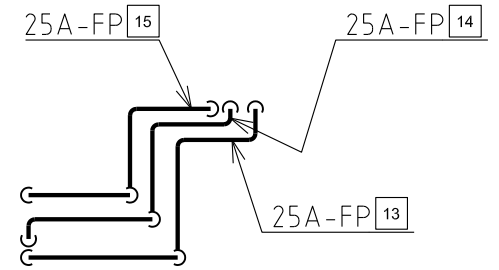
注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-3 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その3)
中国電力株式会社	

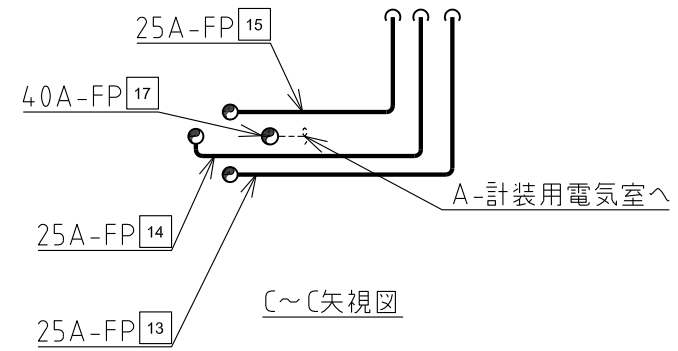


ケーブルシャフトスペース (S I),
 ケーブルシャフトスペース (S II),
 A-計装用電気室, A-バッテリー室,
 廃棄物処理建物計算機室, 会議室,
 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用
 ハロゲン化物ポンペ

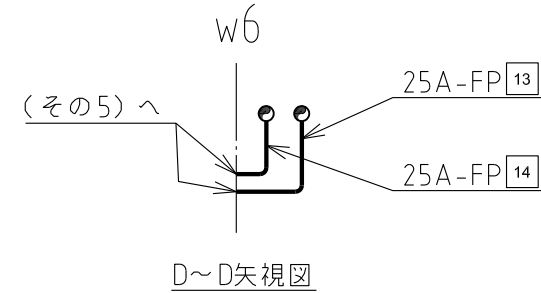
A~A矢視図



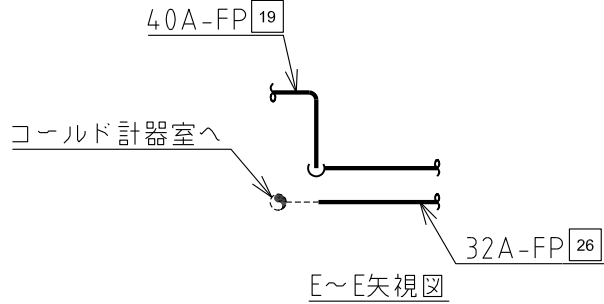
B~B矢視図



C~C矢視図



D~D矢視図



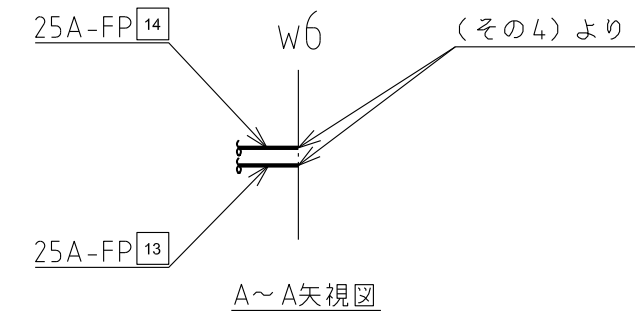
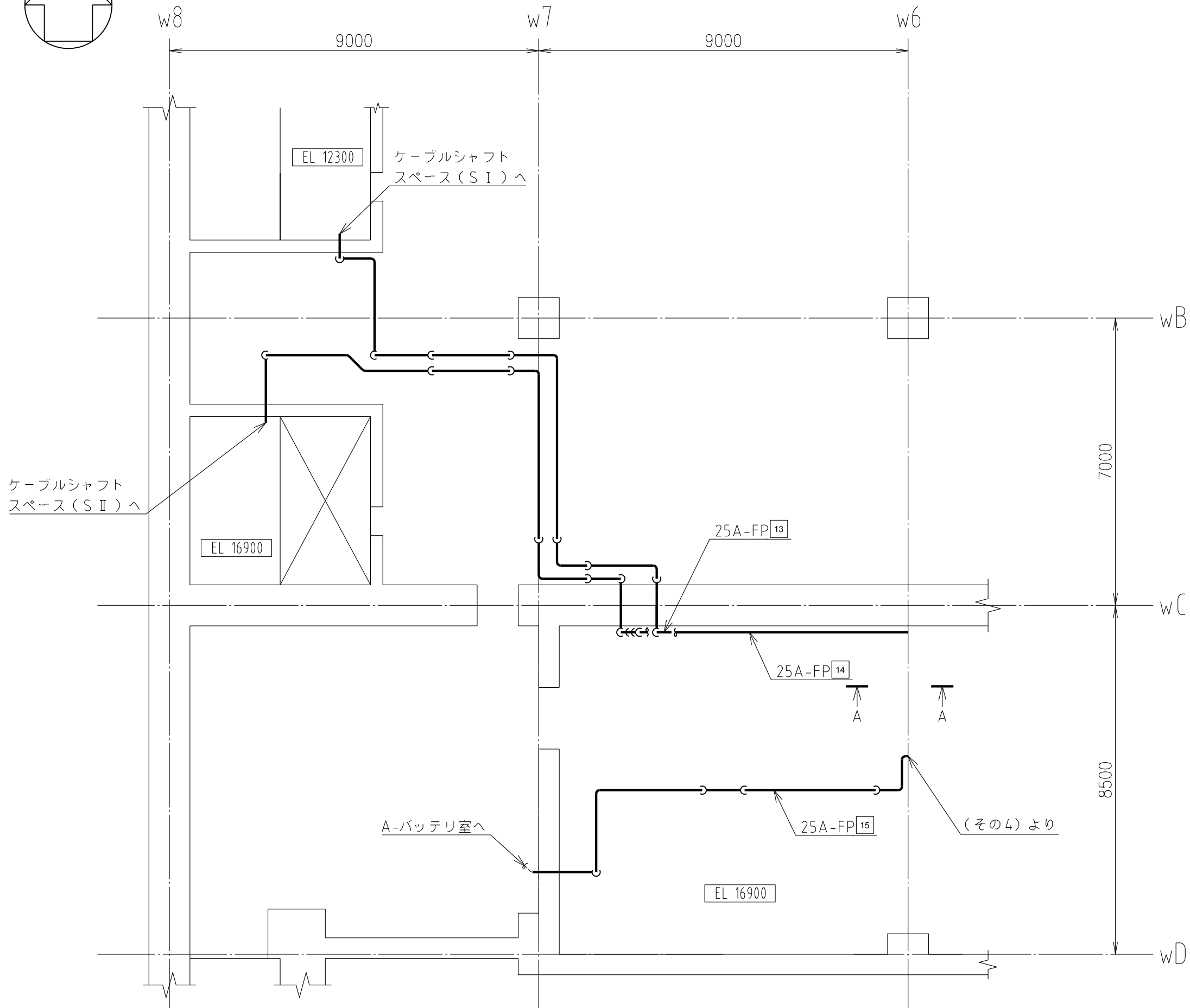
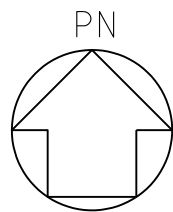
E~E矢視図

注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物

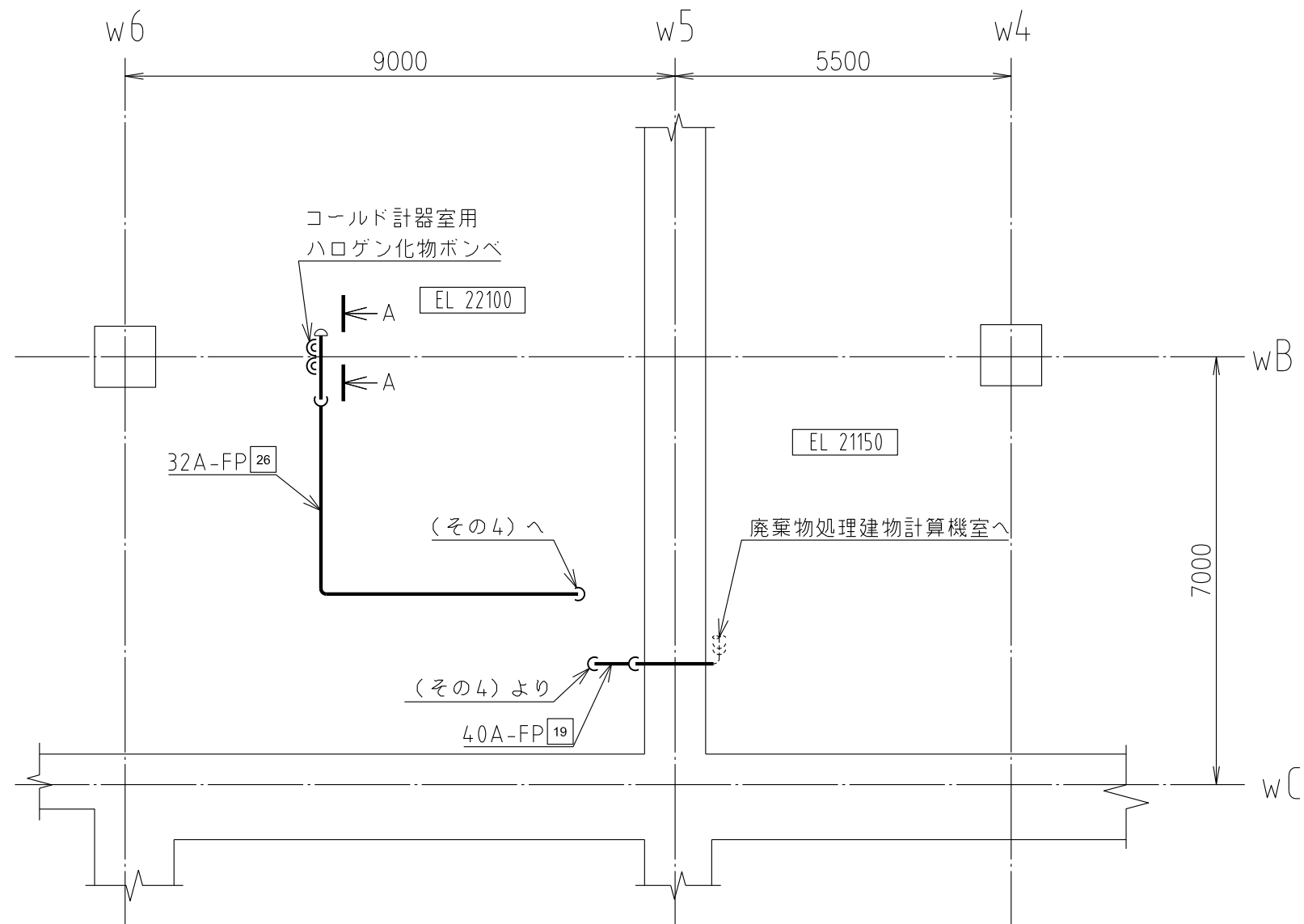
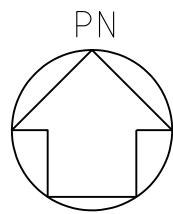
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-4 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その4)

中国電力株式会社



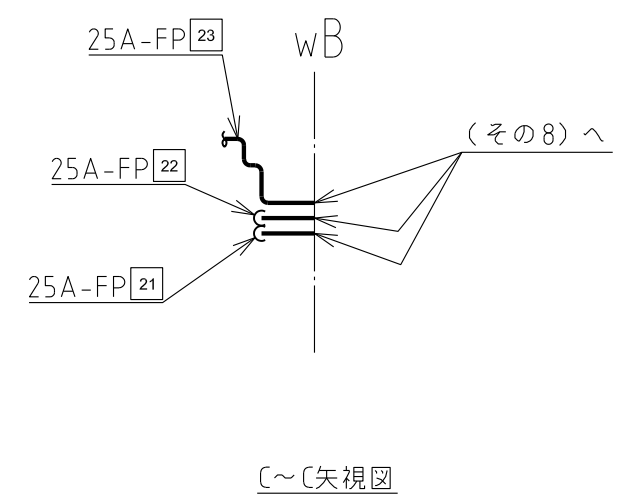
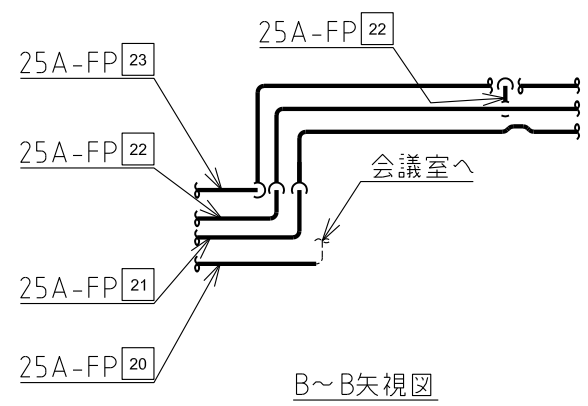
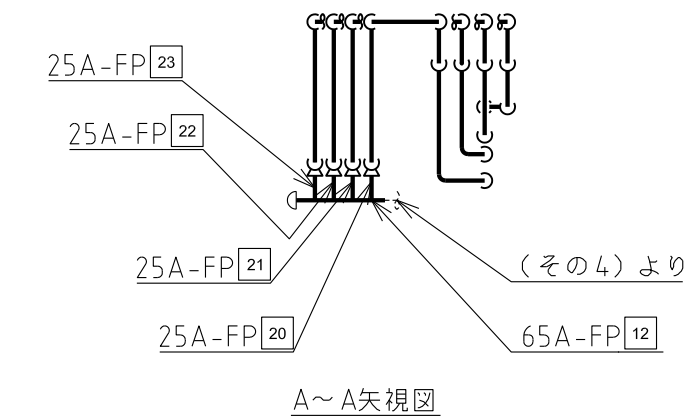
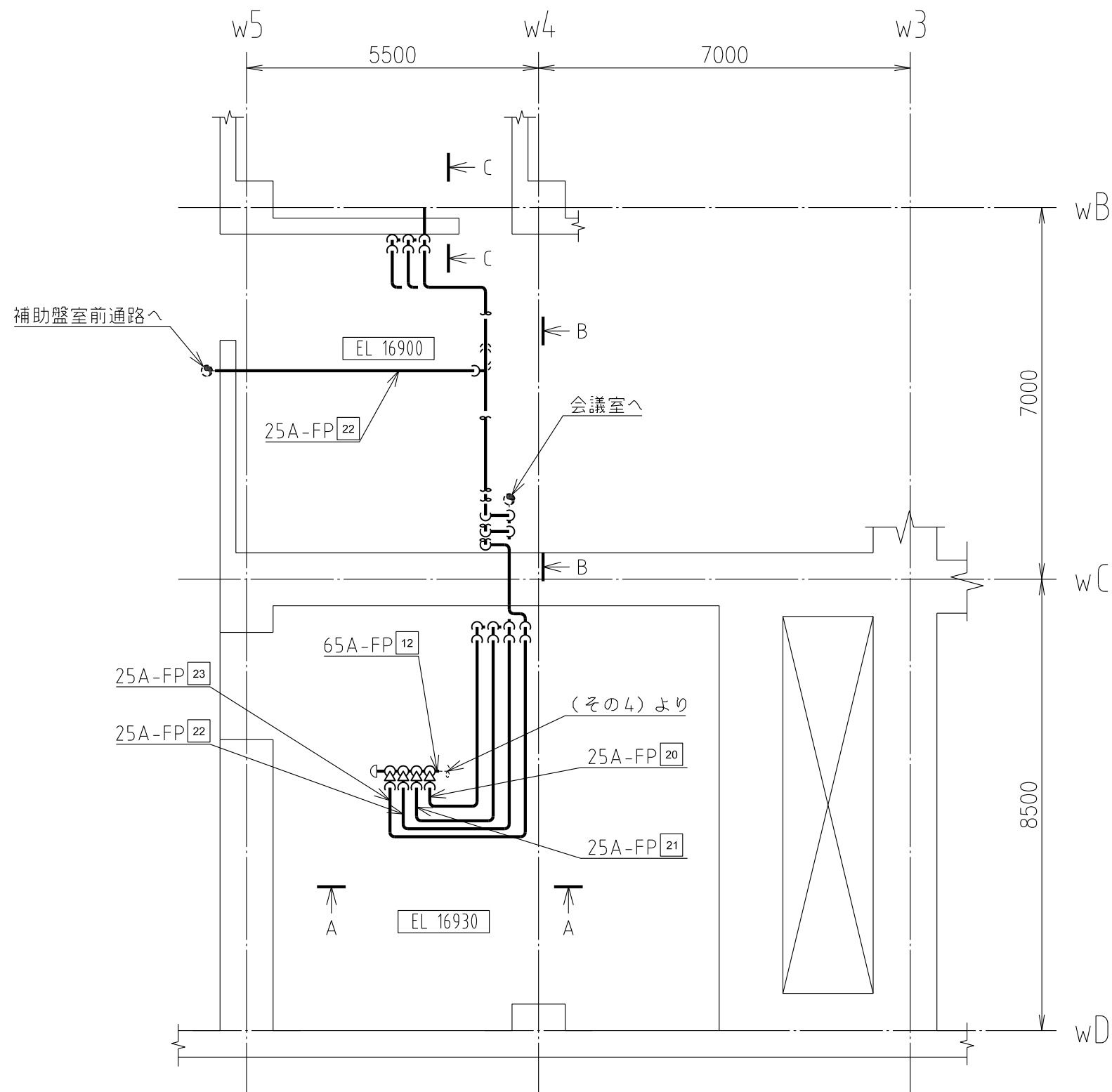
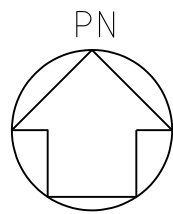
注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-5 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その5)
中国電力株式会社	



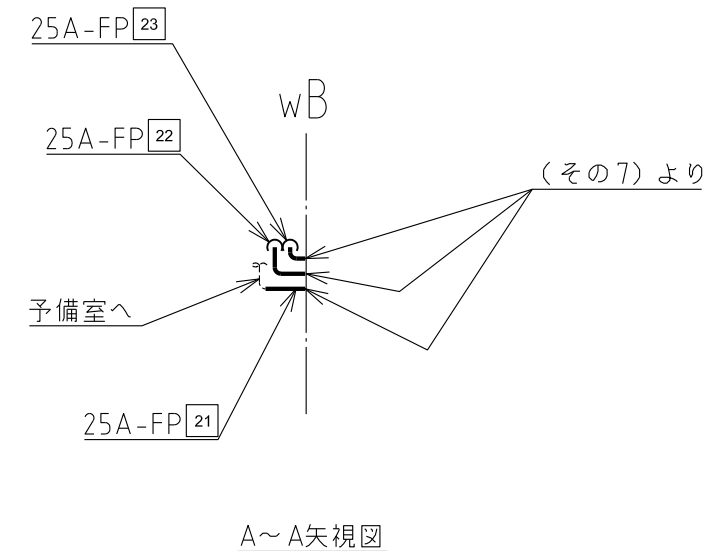
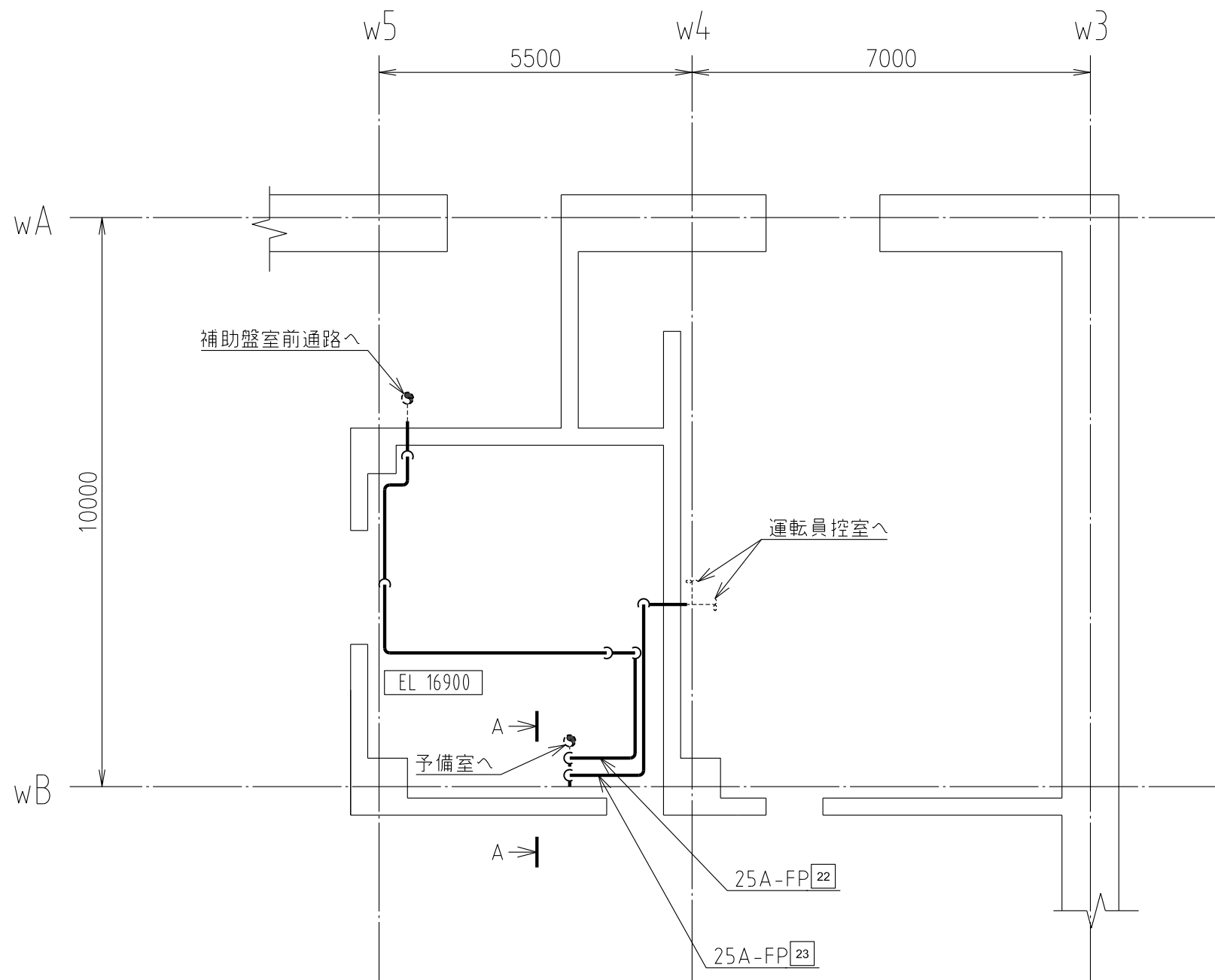
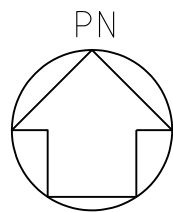
注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-6 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その6)
中国電力株式会社	



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

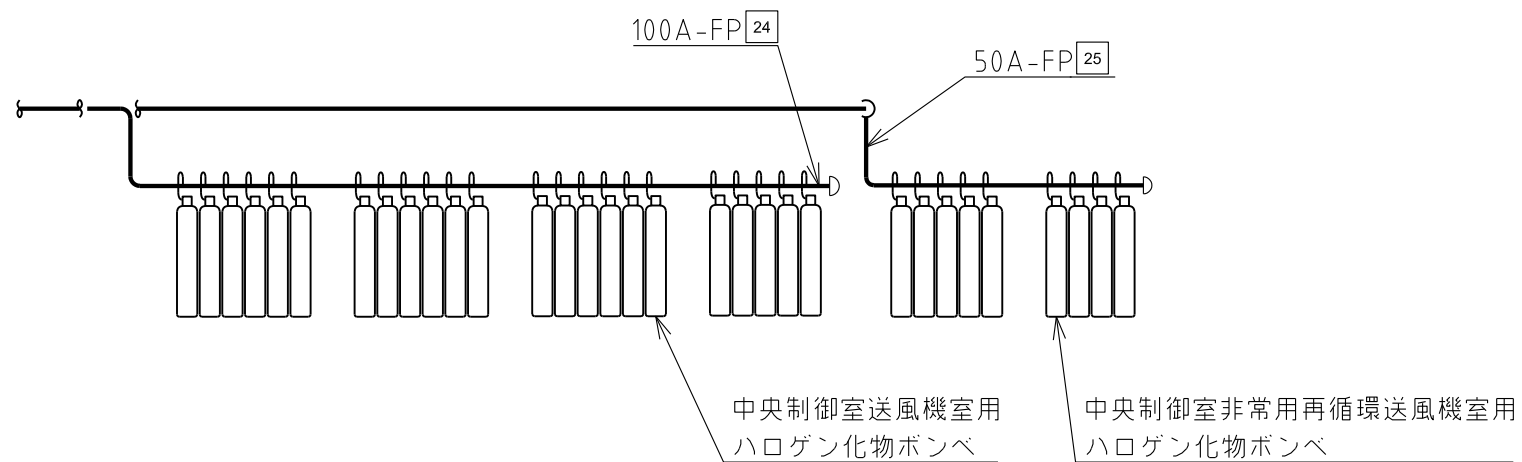
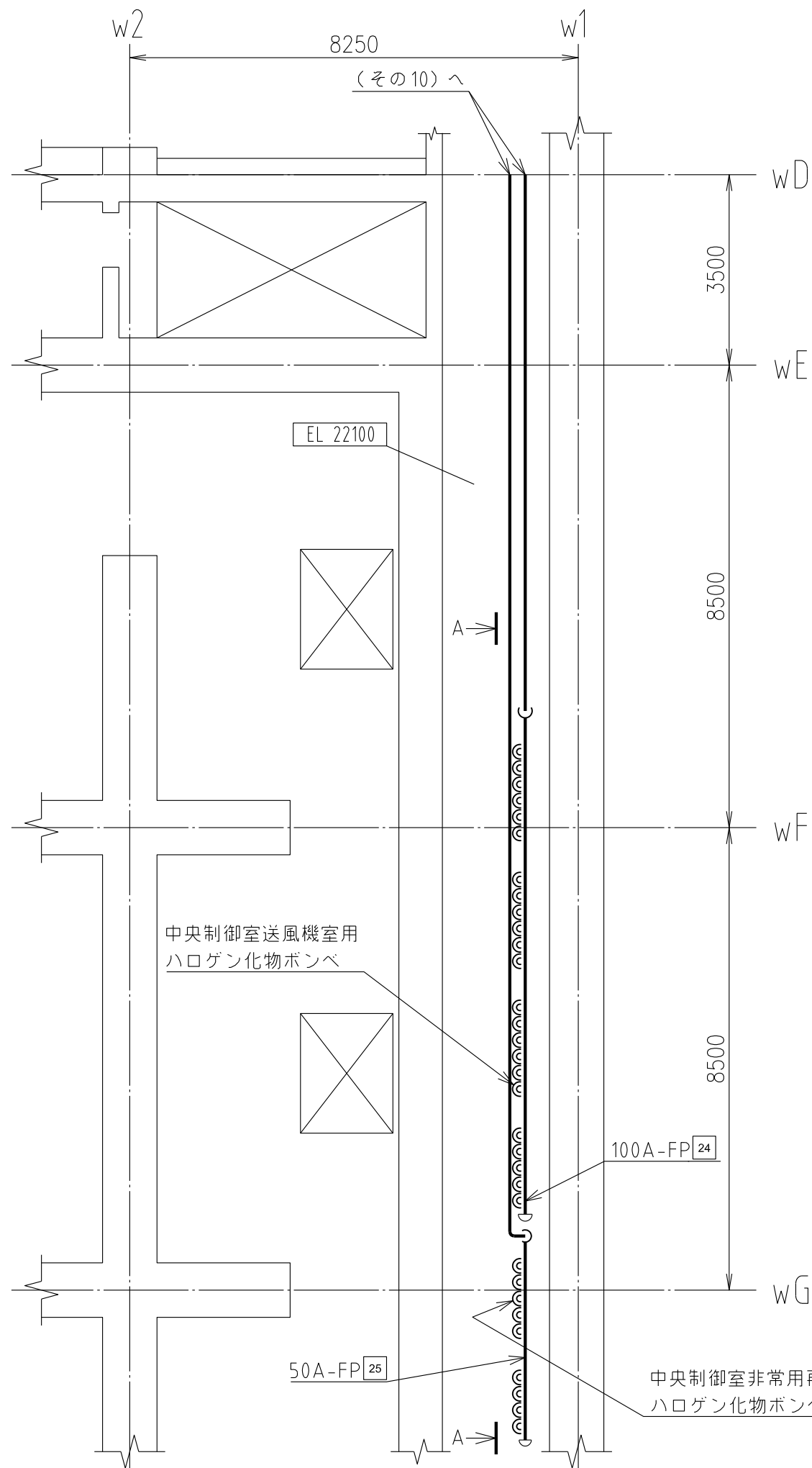
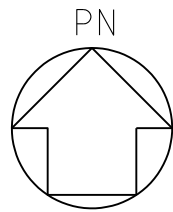
工事計画認可申請 第9-3-2-2-2-7 図	
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その7)
中国電力株式会社	



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-8 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その8)
中国電力株式会社	



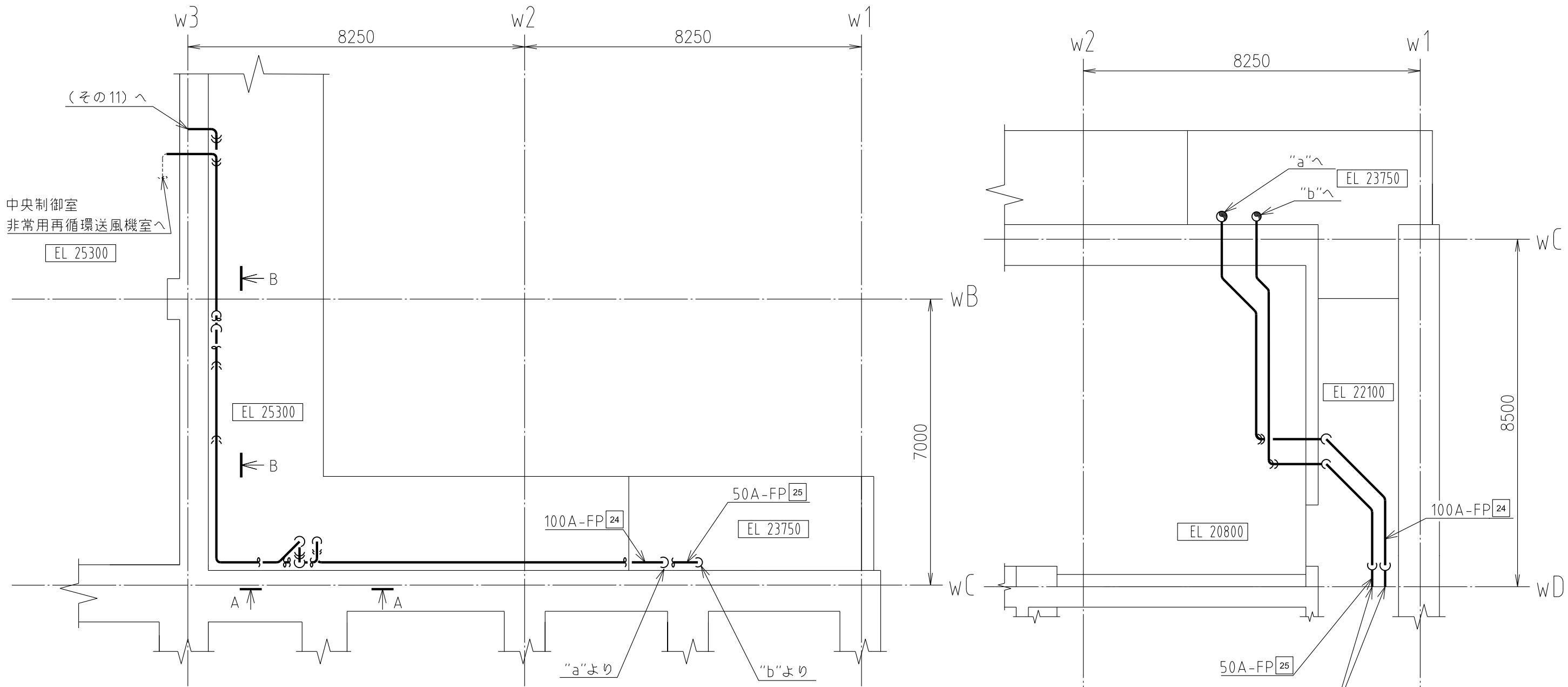
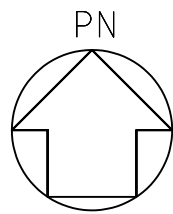
A~A矢視図

注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

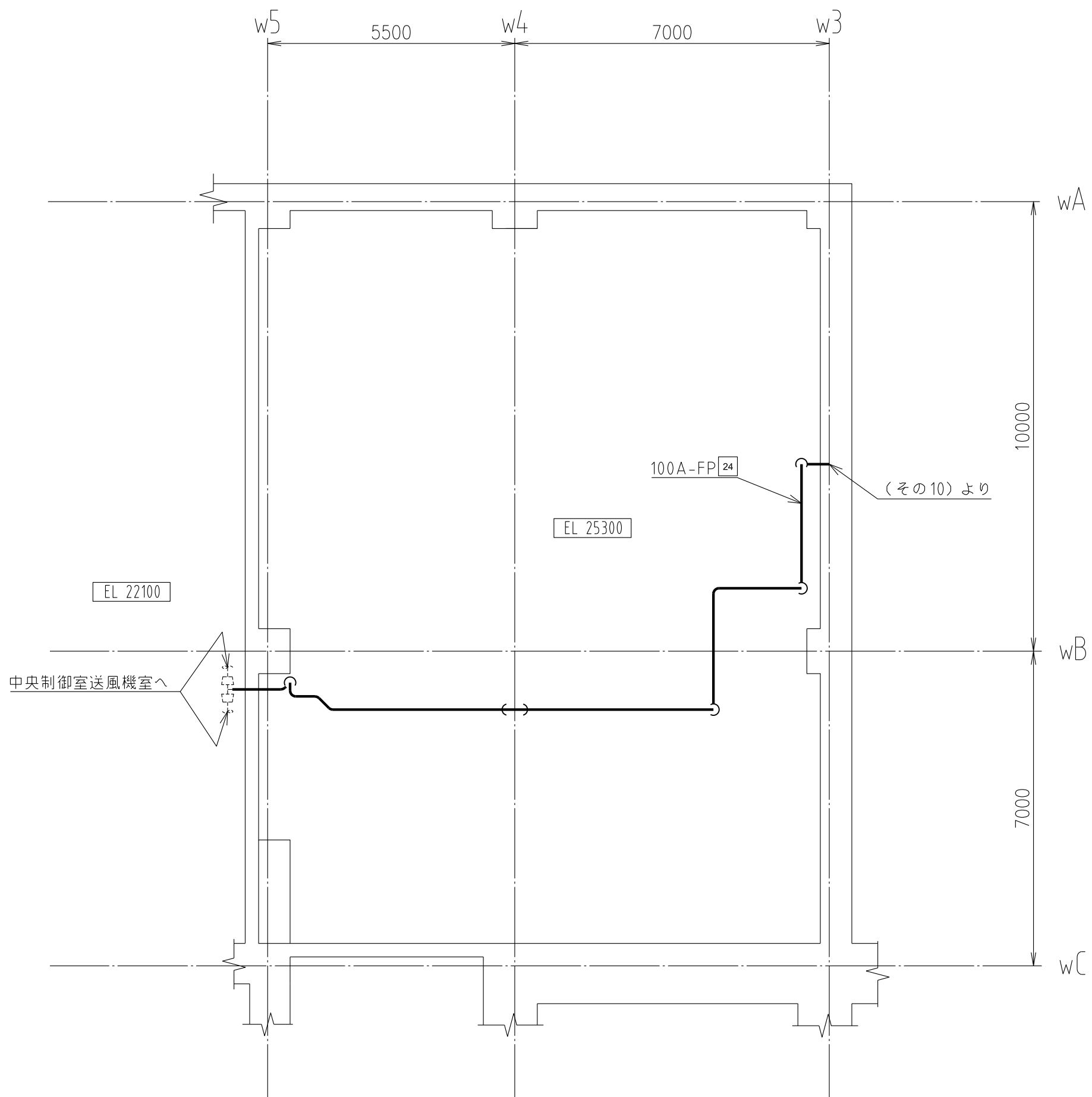
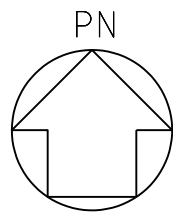
廃棄物処理建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-9 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その9)

中国電力株式会社

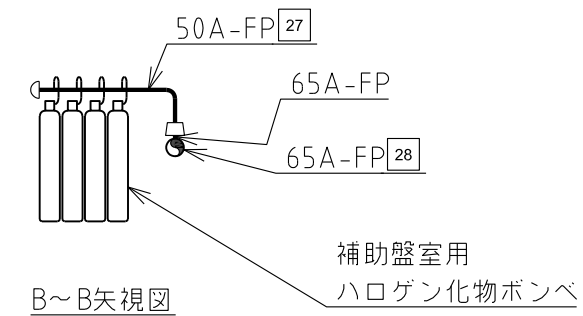
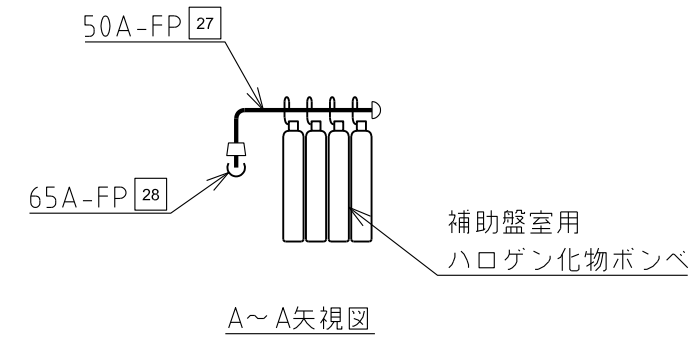
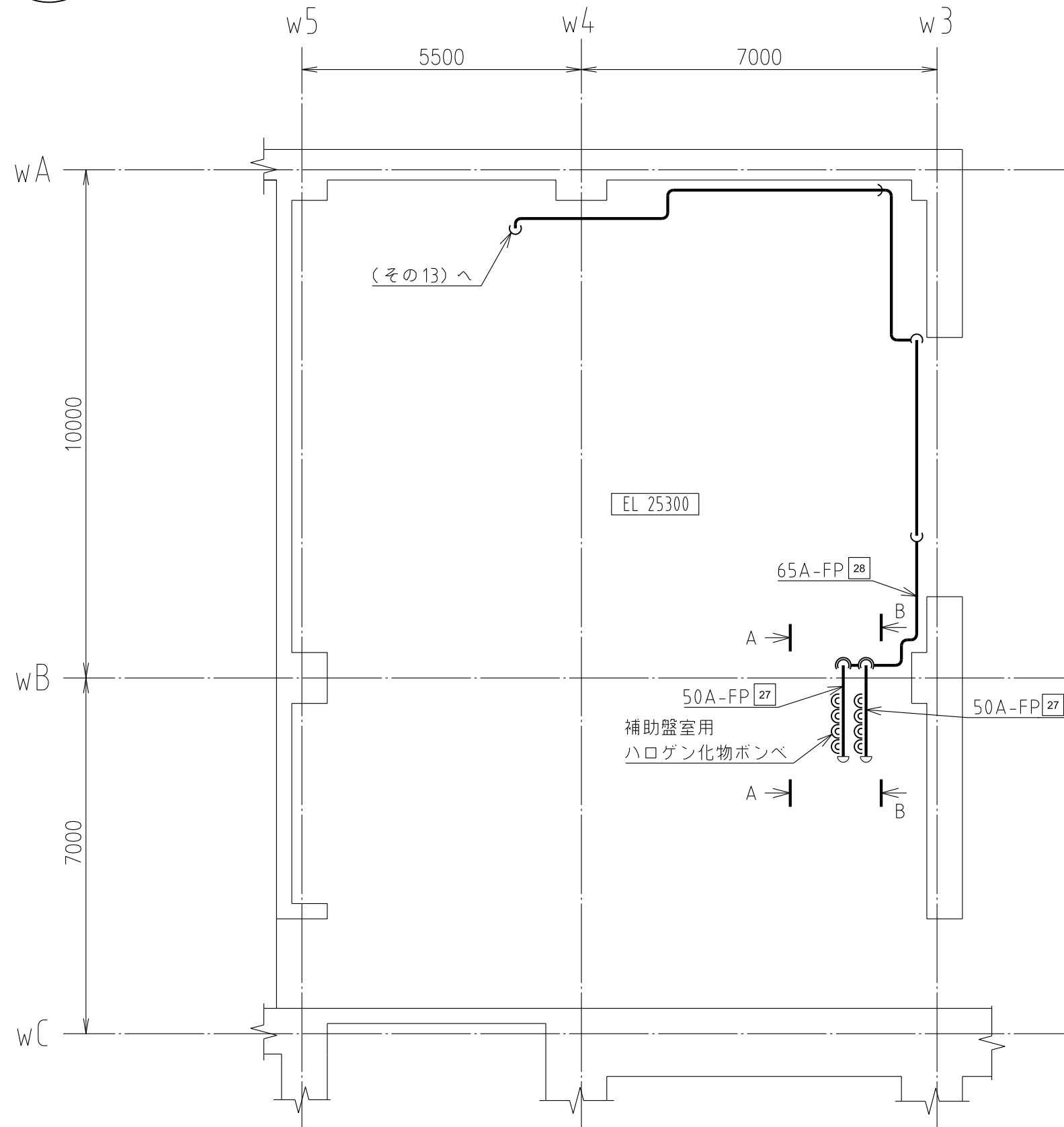
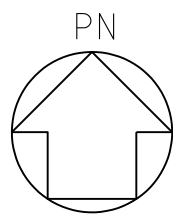


工事計画認可申請 第9-3-2-2-2-10 図	
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その10)
中国電力株式会社	



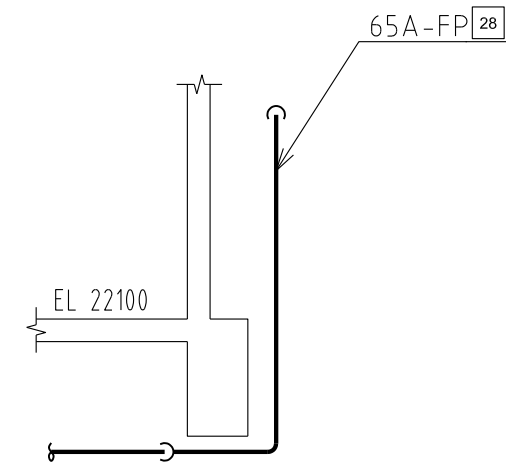
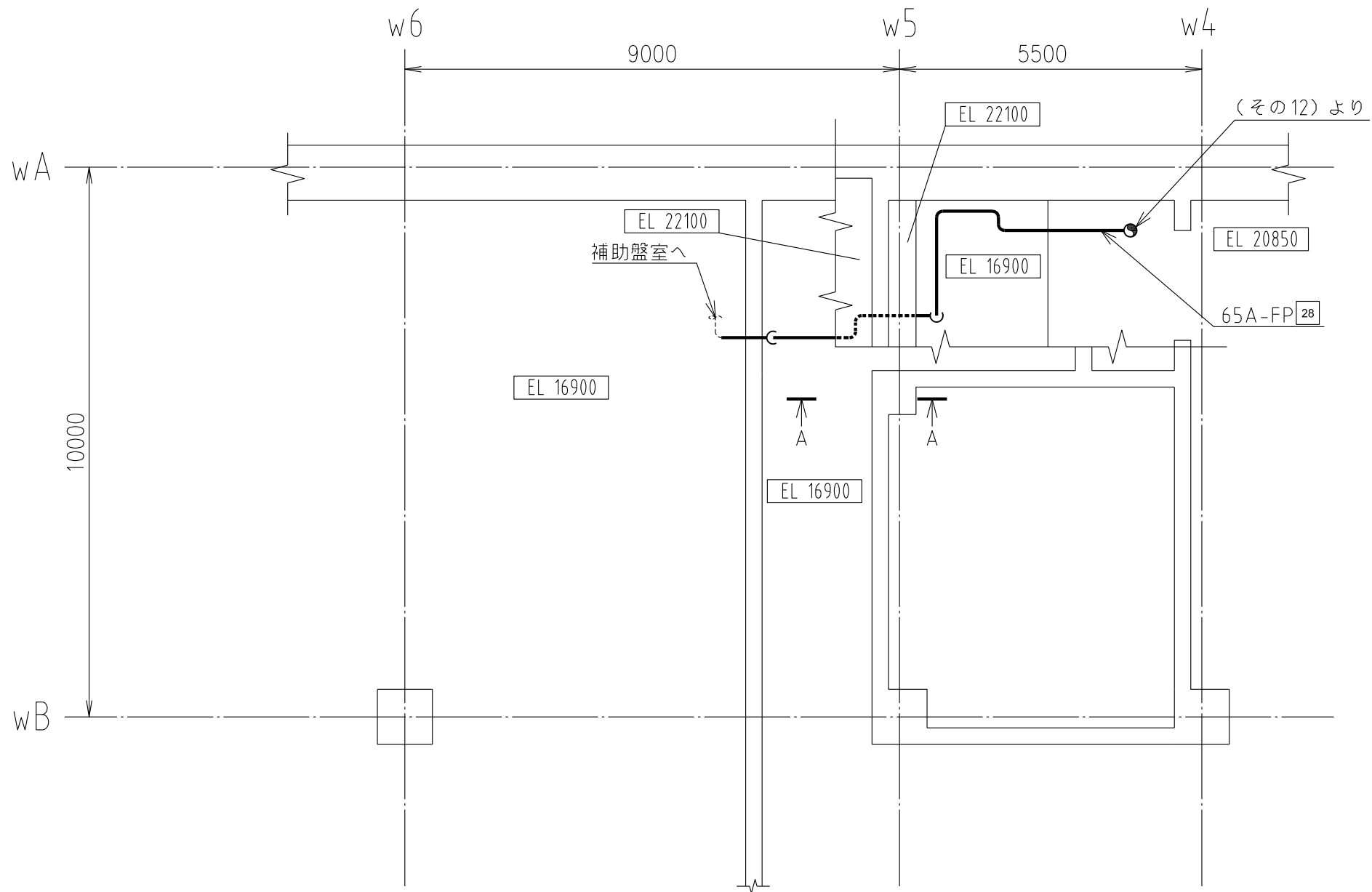
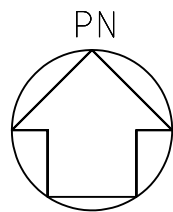
注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-11図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その11)
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-LG11 1Y01



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-12 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その12)
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-LG12 1Y25



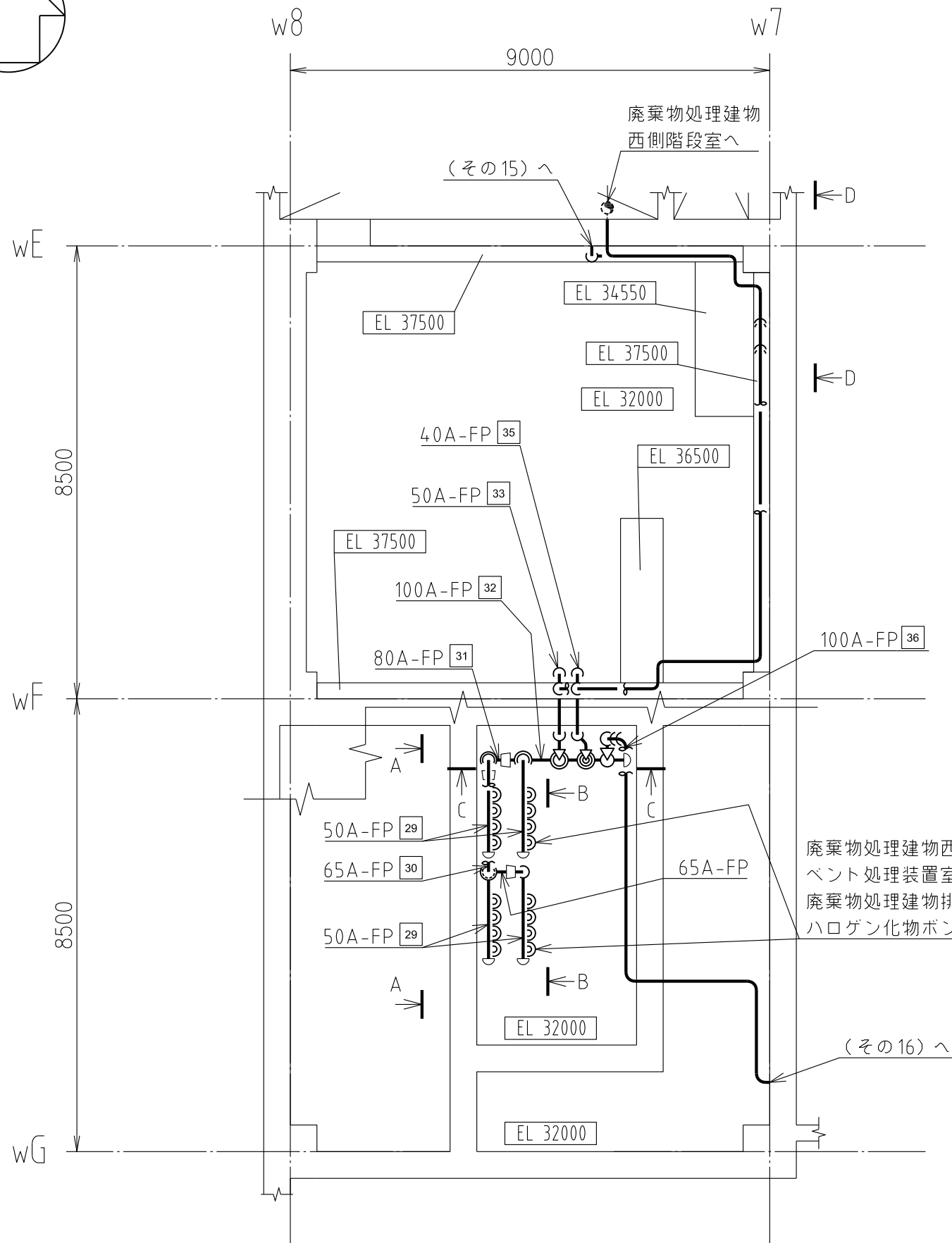
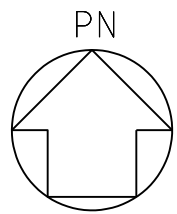
A~A矢視図

注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

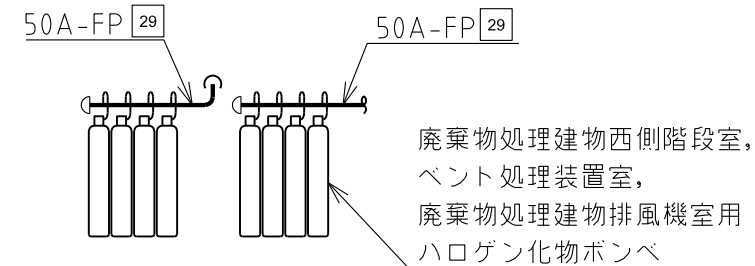
廃棄物処理建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-13 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その13)

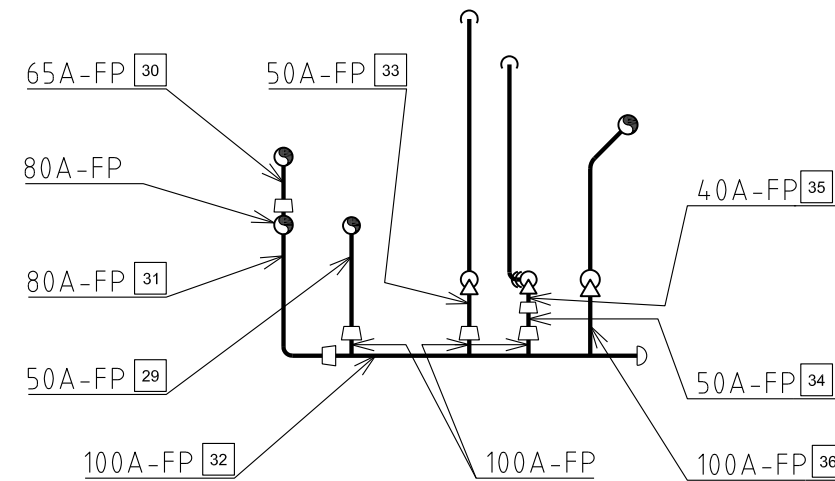
中国電力株式会社



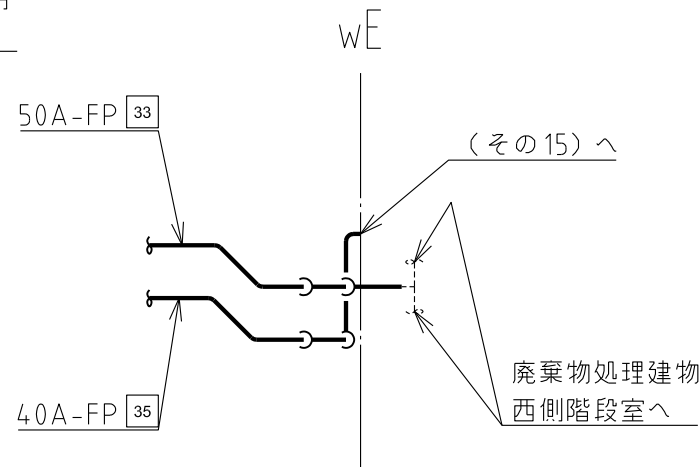
A~A矢視図



B~B矢視図



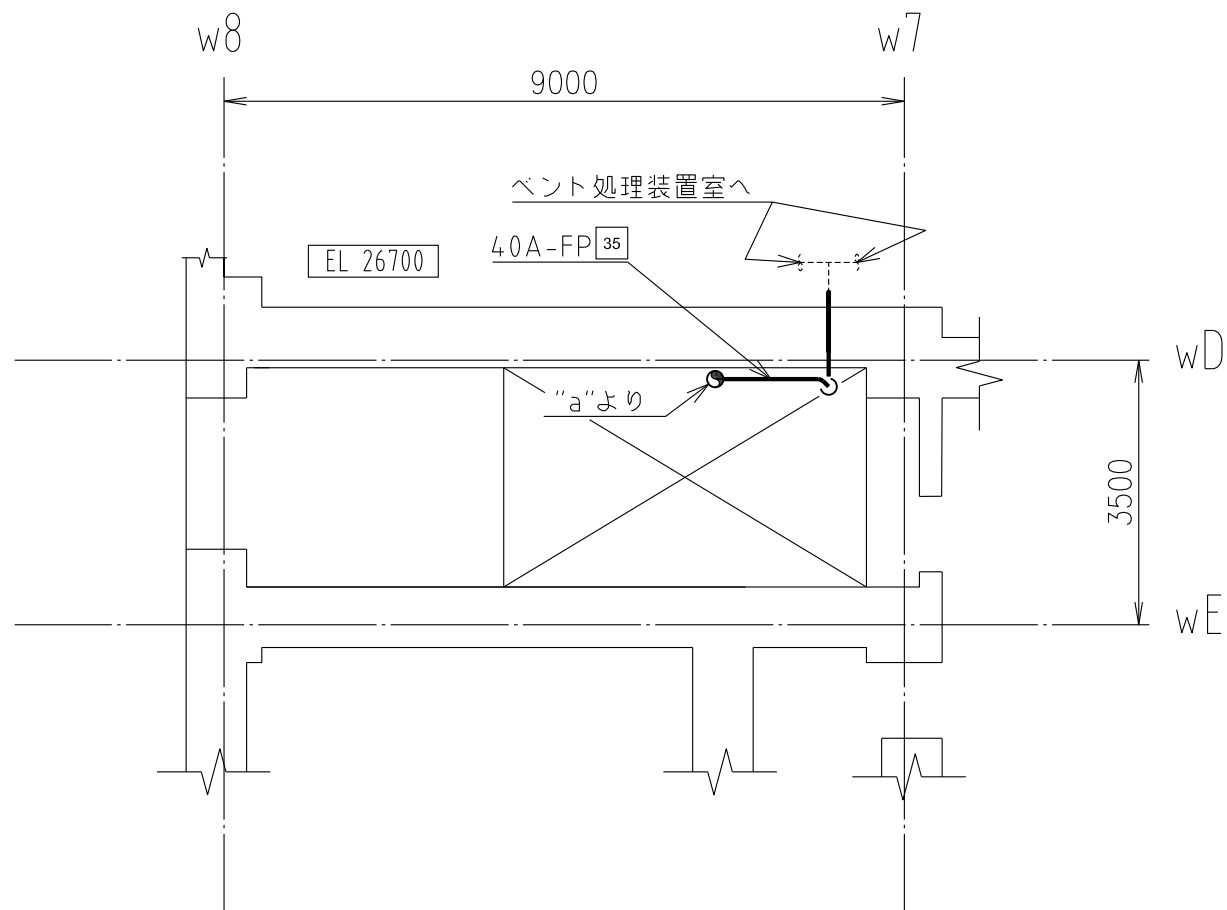
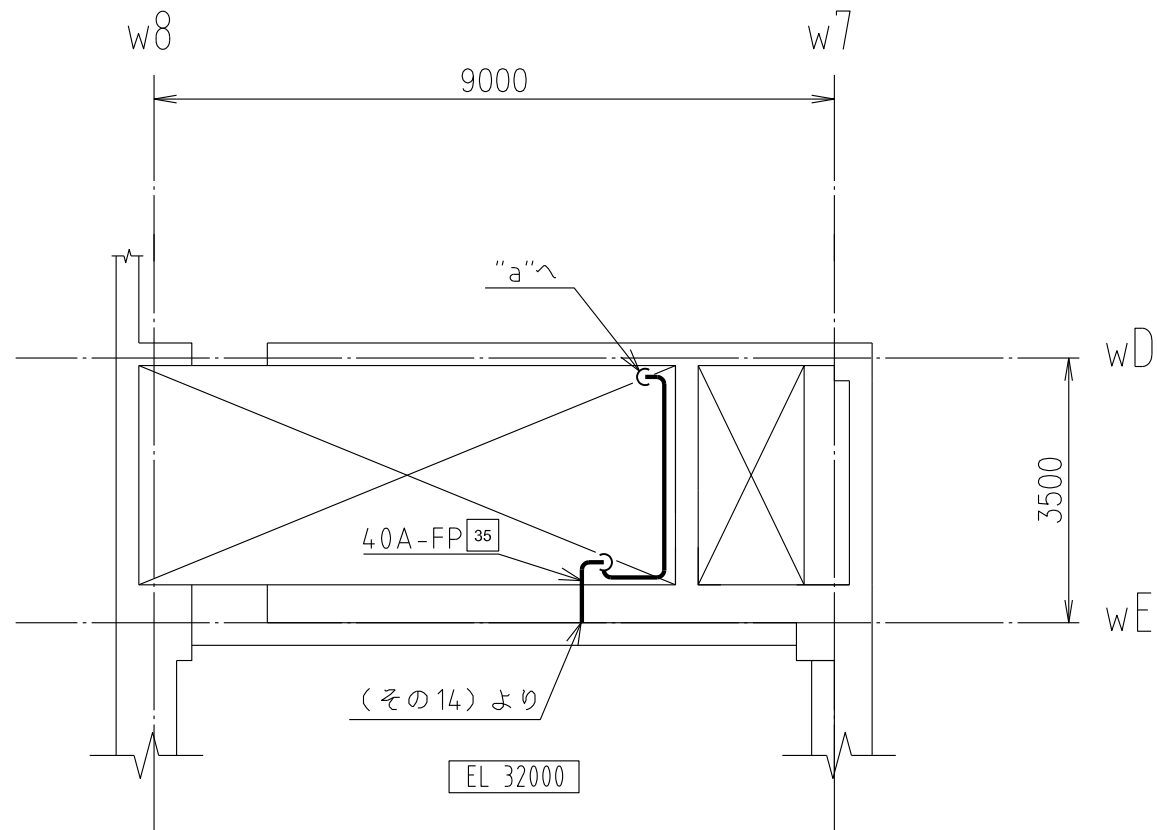
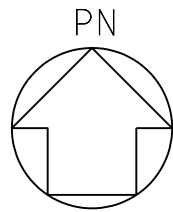
C~C矢視図



D~D矢視図

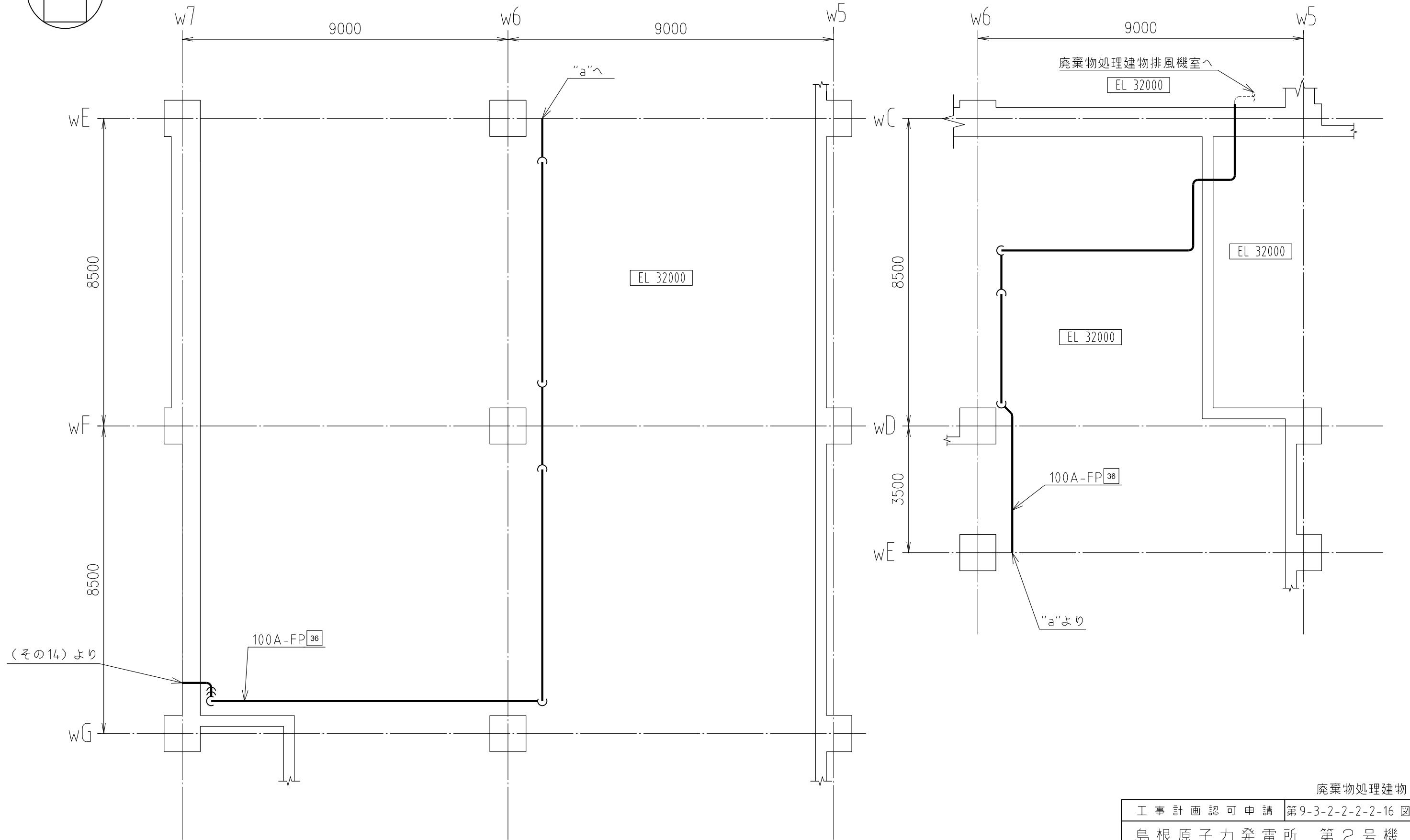
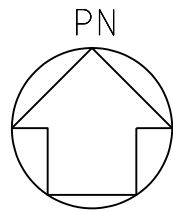
注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

工事計画認可申請 第9-3-2-2-2-14 図	
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その14)
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-LG14 1Y01



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

廃棄物処理建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-15 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その15)
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-LG15 1Y01



(その14)より

100A-FP 36

EL 32000

EL 32000

EL 32000

100A-FP 36

"a"より

廃棄物処理建物

工事計画認可申請 第9-3-2-2-2-16 図

島根原子力発電所 第2号機

名 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面
 称 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物))
 (その16)

中国電力株式会社

注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

第 9-3-2-2-2-2-1~16 図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）） 別紙 1

工事計画抜粋

変 更 前						変 更 後						NO. *2
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
		—				消火系 廃棄物処理建物地下1 階北側通路用ハロゲ ン化物ポンベ ～ 廃棄物処理建物地下1 階北側通路	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP	1

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	B-計装用電気室, B- バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器 室用ハロゲン化物ポン ベ出口ヘッダ管	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP	2
							B-バッテリー室供給ラ イン分岐点 ～ B-バッテリー室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	3
							230Vバッテリー室供給 ライン分岐点 ～ 230Vバッテリー室	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP	4
										42.7	3.6	SUS304TP	5
							充電器室供給ライン 分岐点 ～ 充電器室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	6
							B-計装用電気室供給 ライン分岐点 ～ B-計装用電気室	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP	7

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	5.2	40	廃棄物処理建物 A- ケーブル処理室, 廃 棄物処理建物 B-ケー ブル処理室用ハロゲ ン化物ボンベ出口 ヘッダ管	48.6	3.7	STPG370	8
										76.3	5.2	STPG370	9
							5.2	40	廃棄物処理建物 A- ケーブル処理室供給 ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物 A- ケーブル処理室	76.3	5.2	STPG370	10
							5.2	40	廃棄物処理建物 B- ケーブル処理室供給 ライン分岐点 ～ 廃棄物処理建物 B- ケーブル処理室	60.5	3.9	STPG370	11

変更前						変更後						NO. *2
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
—						ケーブルシャフトス ペース (S I), ケー ブルシャフトス ペース (S II), A-計装用 電気室, A-バッテリ 室, 廃棄物処理建物 計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備 室, 補助盤室前通路 用ハロゲン化物ボン ベ出口ヘッダ管	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	12
						ケーブルシャフトス ペース (S I) 供給ラ イン分岐点 ～ ケーブルシャフトス ペース (S I)	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	13
						ケーブルシャフトス ペース (S II) 供給ラ イン分岐点 ～ ケーブルシャフトス ペース (S II)	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	14

変更前						変更後						NO.*2
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	
—						A-バッテリー室供給ライン分岐点 ～ A-バッテリー室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	15
						A-計装用電気室供給 ライン分岐点 ～ A-計装用電気室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	16
									48.6	3.7	SUS304TP	17
						廃棄物処理建物計算 機室供給ライン分岐 点 ～ 廃棄物処理建物計算 機室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	18
									48.6	3.7	SUS304TP	19
						会議室供給ライン分 岐点 ～ 会議室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	20

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消 火 系	予備室供給ライン分岐点 ～ 予備室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	21
							補助盤室前通路供給 ライン分岐点 ～ 補助盤室前通路	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	22
							運転員控室供給ライ ン分岐点 ～ 運転員控室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	23

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	中央制御室送風機室 用ハロゲン化物ポン ベ ～ 中央制御室送風機室	5.2	40	114.3	6.0	SUS304TP	24
							中央制御室非常用再 循環送風機室用ハロ ゲン化物ポンベ ～ 中央制御室非常用再 循環送風機室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	25

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	コールド計器室用ハ ロゲン化物ポンベ ～ コールド計器室	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP	26

変更前						変更後						NO.*2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	補助盤室用ハロゲン 化物ポンベ ～ 補助盤室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	27
										76.3	5.2	SUS304TP	28

変更前						変更後						NO. *2														
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料															
—						消火系	廃棄物処理建物西側 階段室, ベント処理 装置室, 廃棄物処理 建物排風機室用ハロ ゲン化物ボンベ出口 ヘッダ管	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	29													
										76.3	5.2	SUS304TP	30													
										89.1	5.5	SUS304TP	31													
										114.3	6.0	SUS304TP	32													
												消火系	廃棄物処理建物西側 階段室供給ライン分 岐点 ～ 廃棄物処理建物西側 階段室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	33							
																				消火系	ベント処理装置室供 給ライン分岐点 ～ ベント処理装置室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP

注記*1：公称値を示す。

*2：消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））に記載の四角内番号を示す。

第 9-3-2-2-2-2-1~16 図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面(ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) 別紙 2

工事計画記載の公称値の許容範囲

[ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)の主配管]

管 NO.1*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	48.6	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9 による材料公差
厚さ	3.7	±0.5mm	同上

管 NO.2*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9 による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管 NO.3*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	42.7	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9 による材料公差
厚さ	3.6	±0.5mm	同上

管 NO.4*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	48.6	±0.5mm	J I S G 3 4 5 4 による材料公差
厚さ	3.7	+0.6mm -0.5mm	同上

管 NO.7*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	±1%	J I S G 3 4 5 4 による材料公差
厚さ	5.2	+15% -12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

〔ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物）の主配管（続き）〕

管NO.10*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 4による材料公差
厚さ	3.9	+0.6mm -0.5mm	同上

管NO.11*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.2	±12.5%	同上

管NO.13*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

管NO.14*

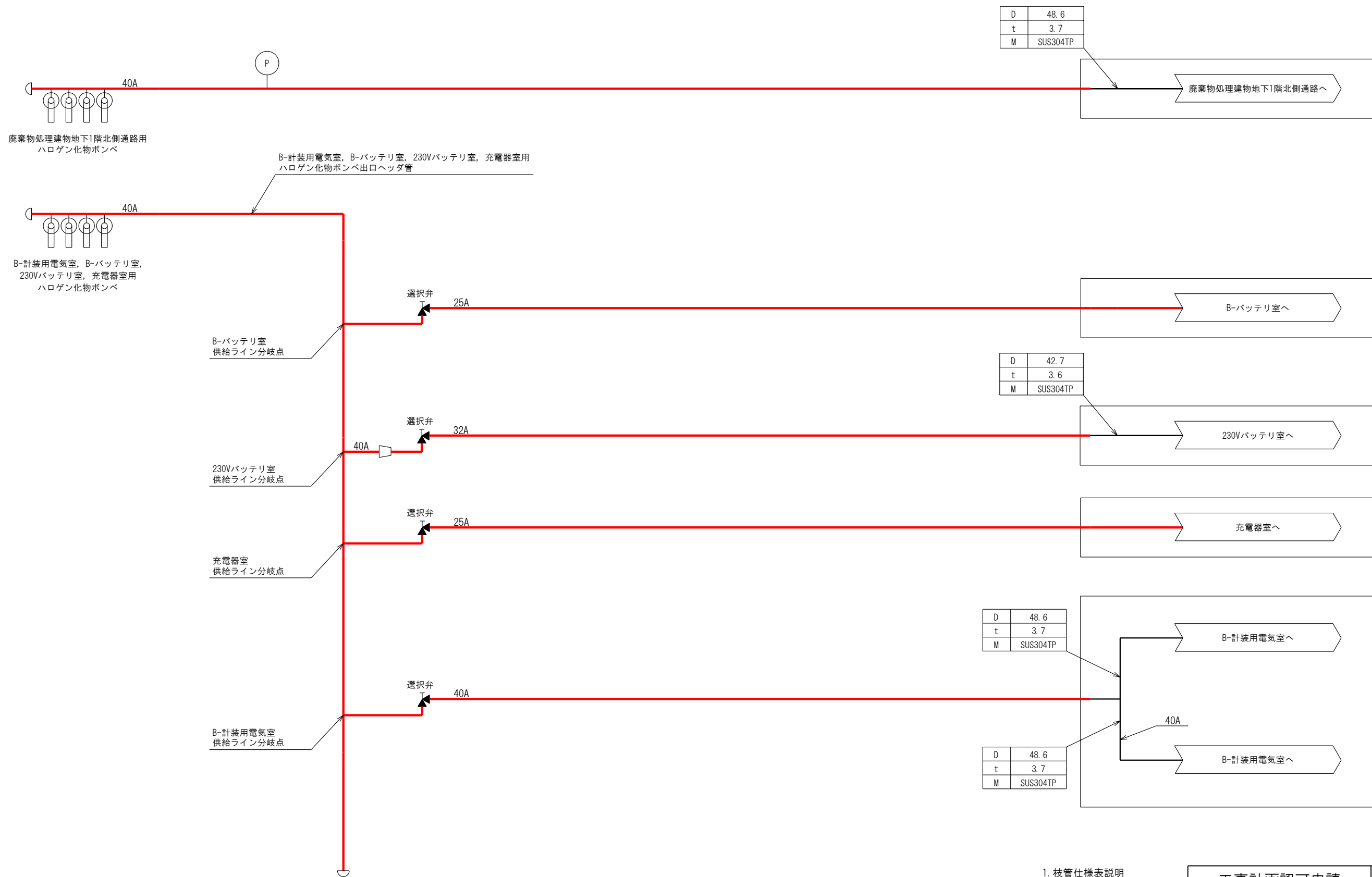
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	114.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	6.0	±12.5%	同上

管NO.16*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	89.1	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.5	±12.5%	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値

注記*：管の強度計算書のNO.を示す。

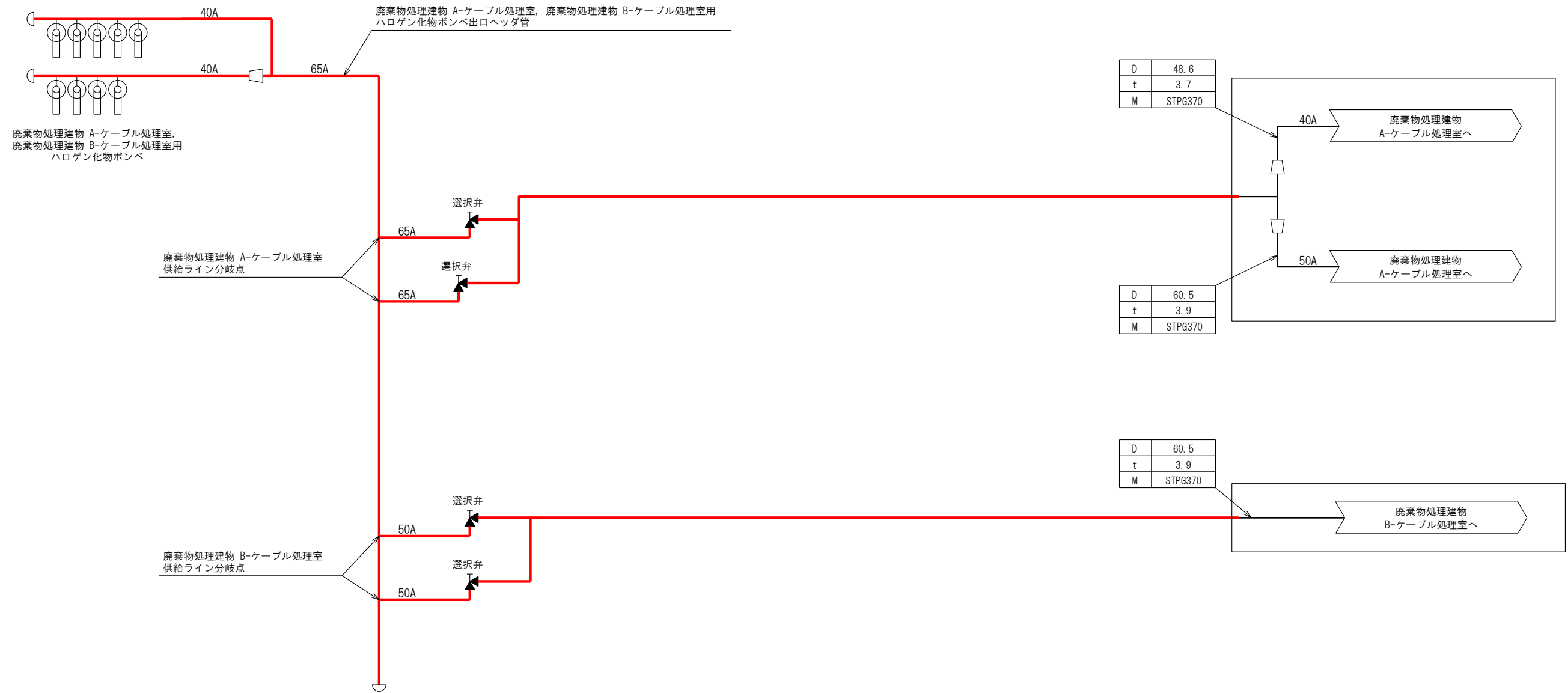


— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（当該系統の申請範囲）

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請		第9-3-2-2-3-1図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その1)	
	中国電力株式会社	
FP		NS2FP-PG01 1514

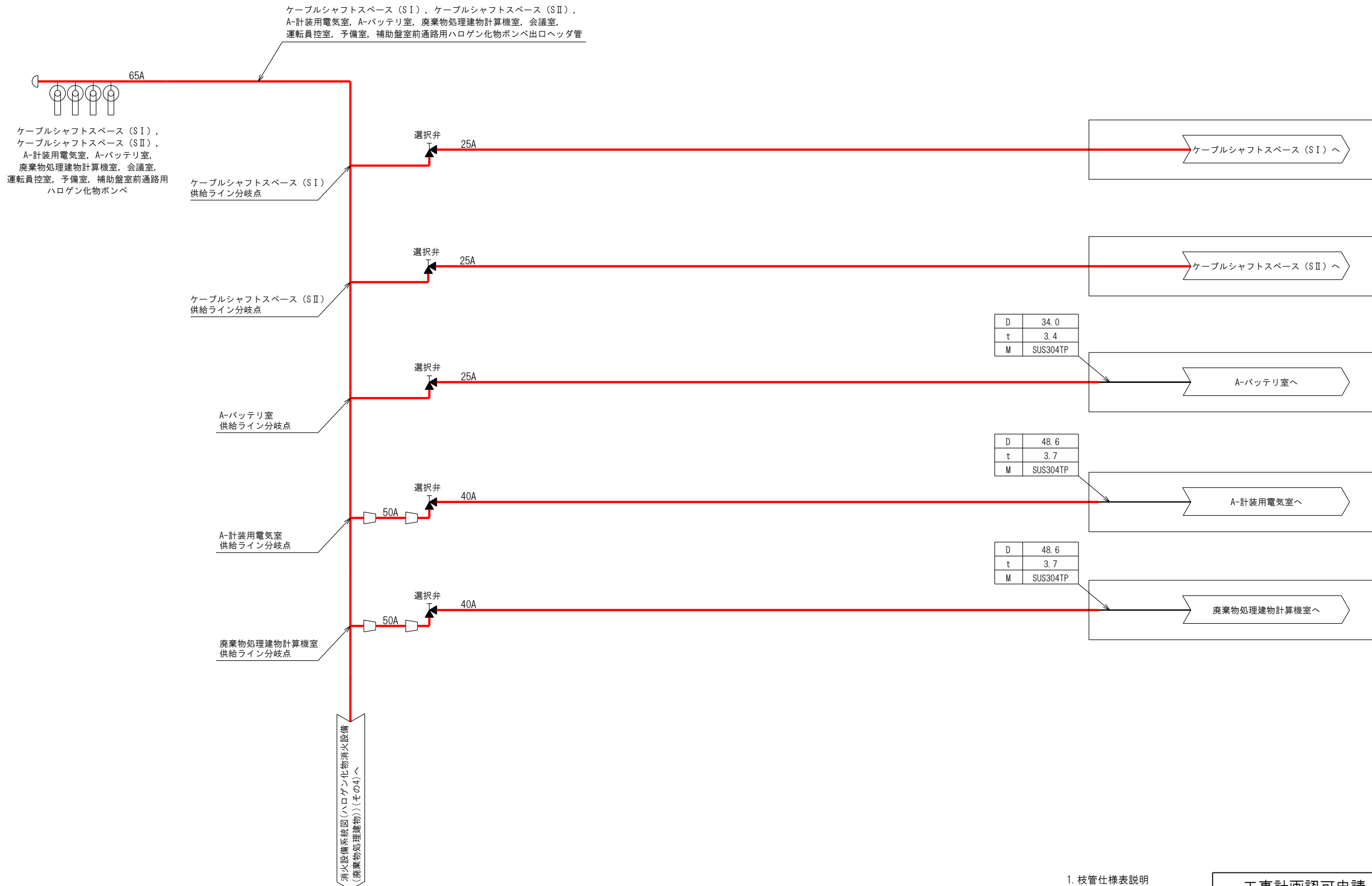


— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（当該系統の申請範囲）

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請	第9-3-2-2-3-2図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物) (その2))
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-PG02 1514

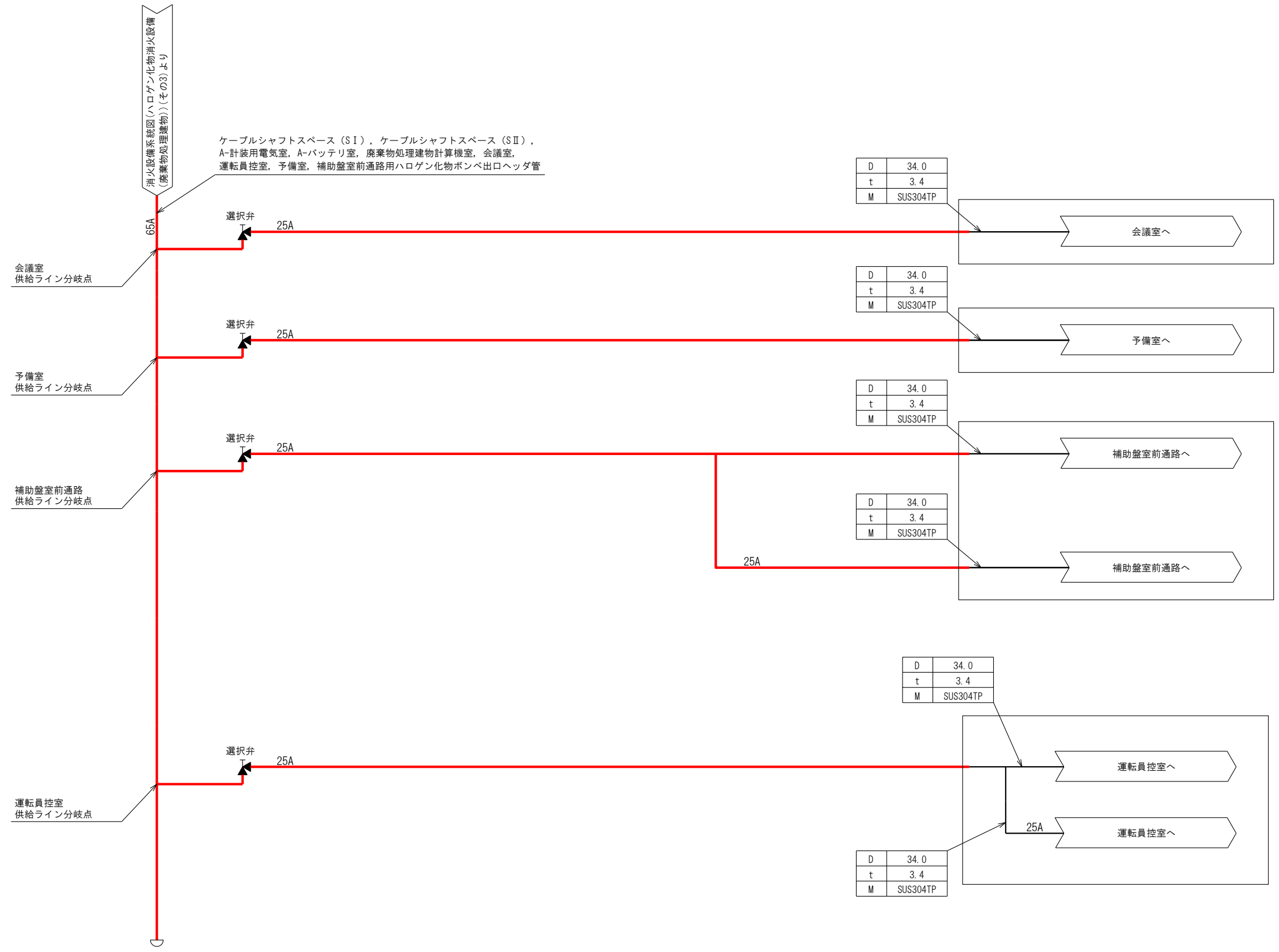


— 火災防護設備のうち消火系 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (当該系統の申請範囲)

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請		第9-3-2-2-3-3図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その3)	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-PG03	1514

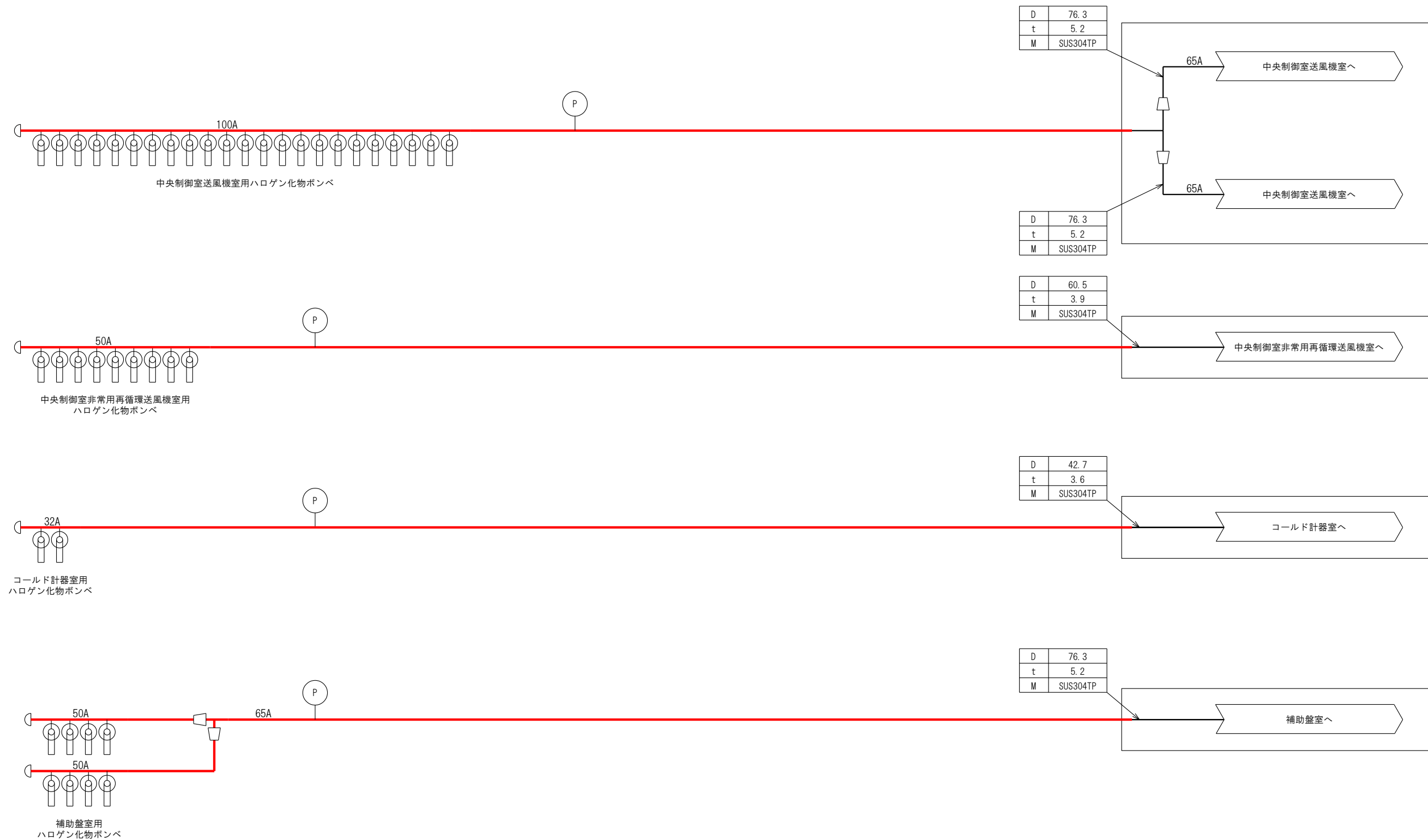


— 火災防護設備のうち消火系 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (当該系統の申請範囲)

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請	第9-3-2-2-3-4図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備 (廃棄物処理建物)) (その4)	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-PG04	1514

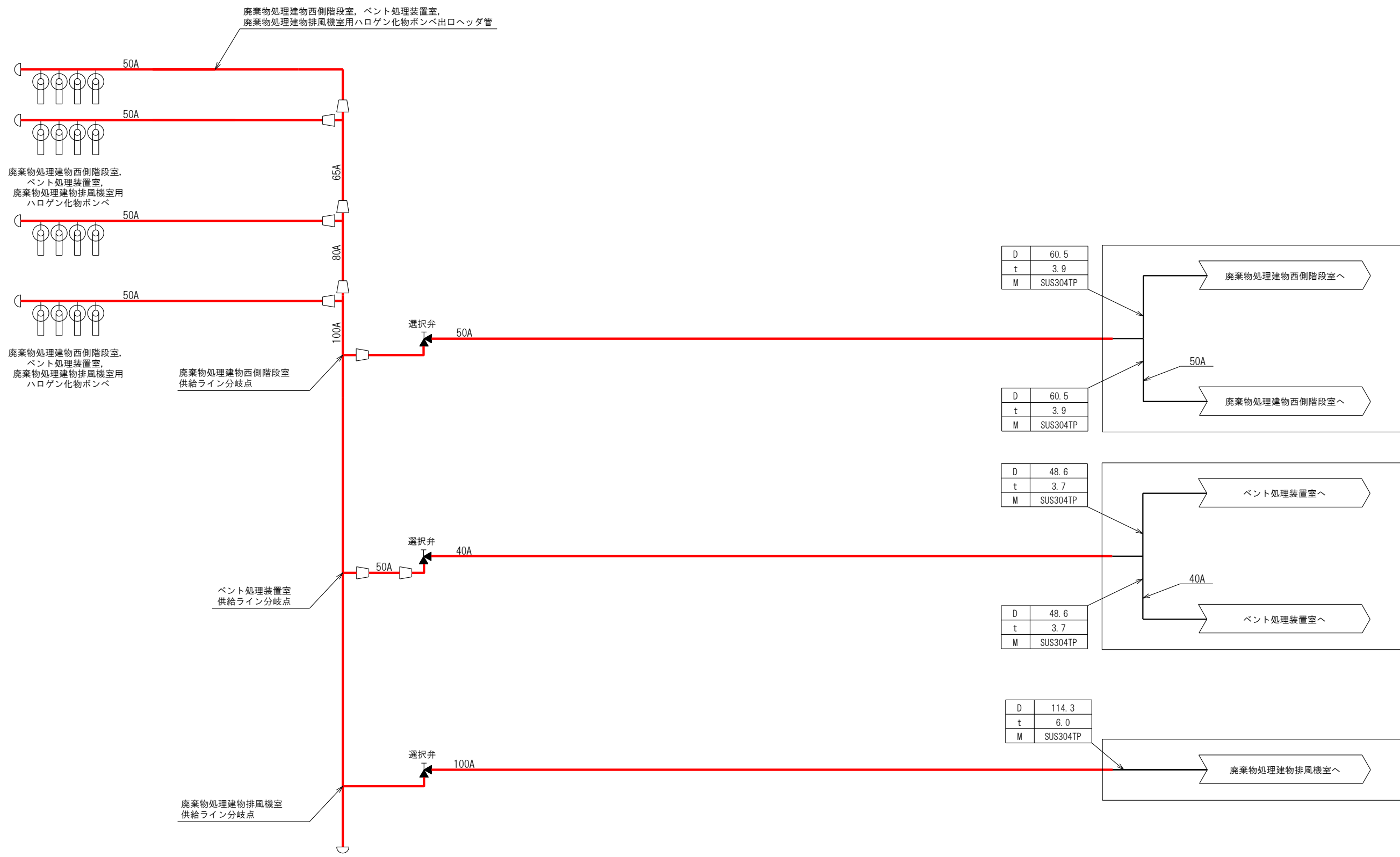


— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（当該系統の申請範囲）

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請		第9-3-2-2-3-5図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その5)	
	中国電力株式会社	
FP	NS2FP-PG05	1Y25



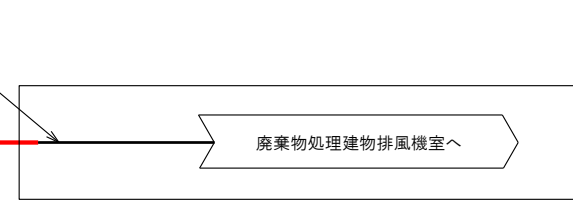
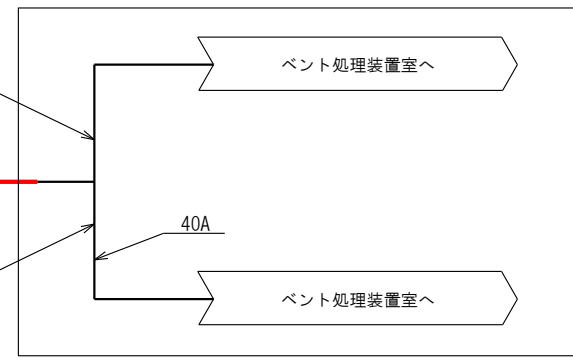
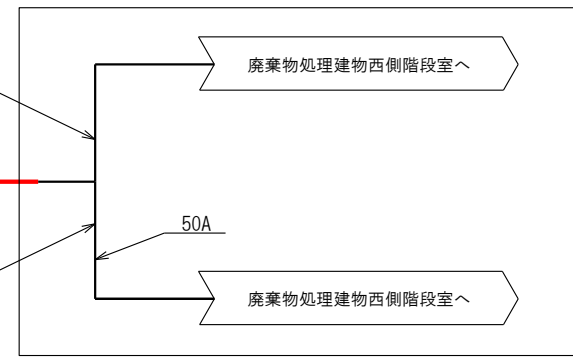
D	60.5
t	3.9
M	SUS304TP

D	60.5
t	3.9
M	SUS304TP

D	48.6
t	3.7
M	SUS304TP

D	48.6
t	3.7
M	SUS304TP

D	114.3
t	6.0
M	SUS304TP



1. 枝管仕様表説明

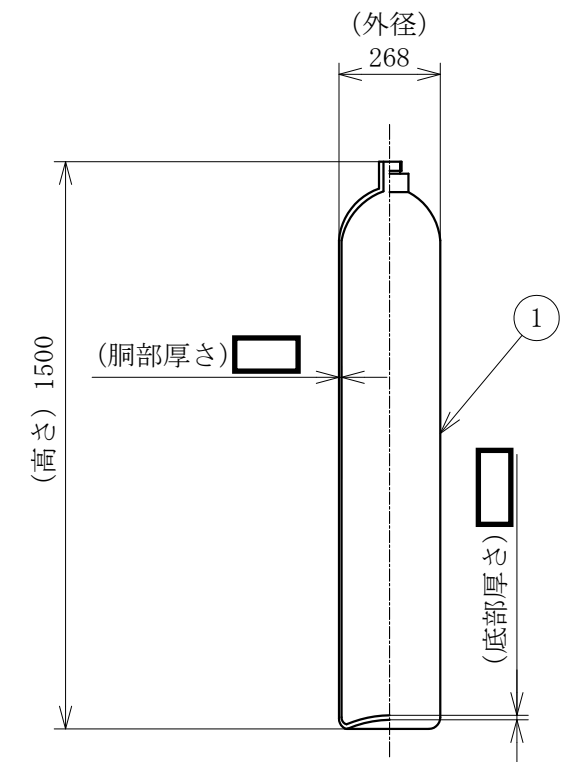
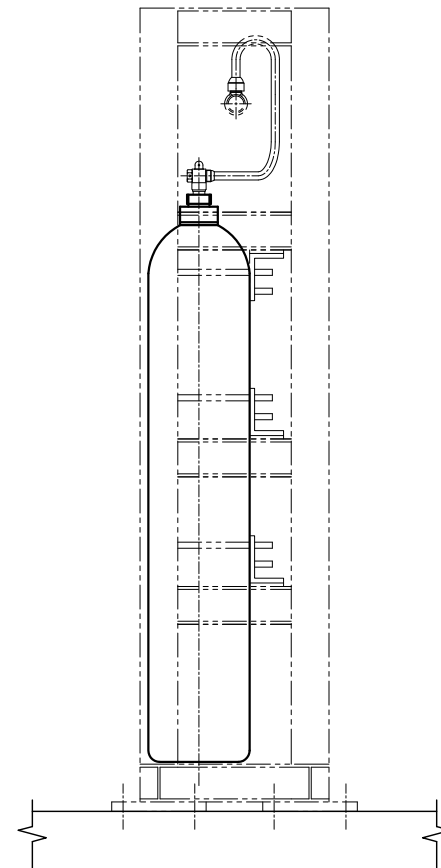
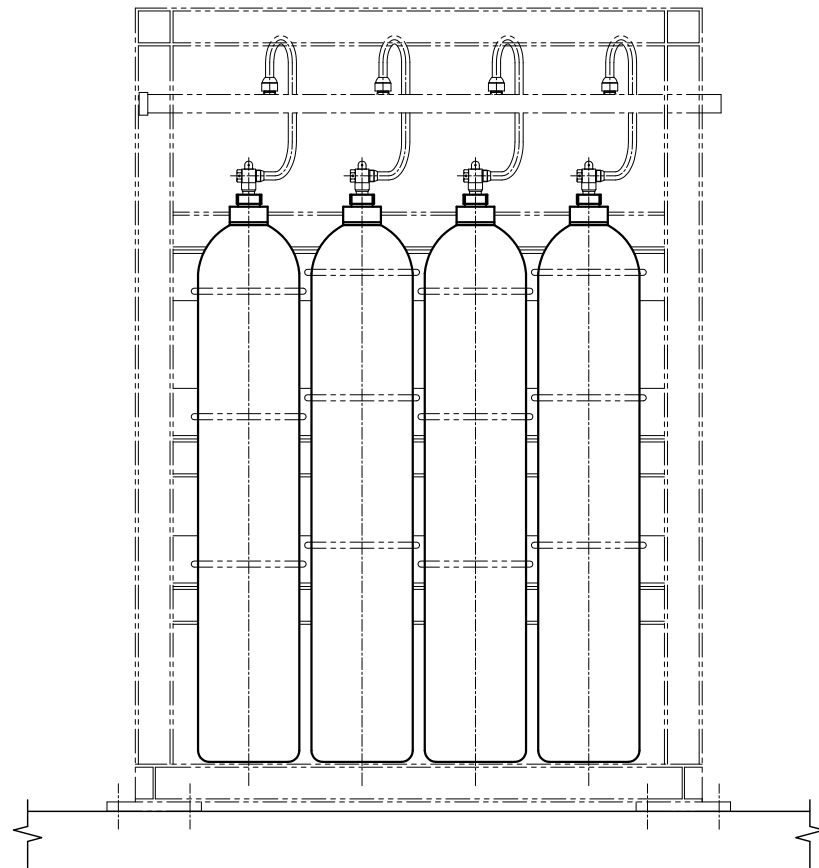
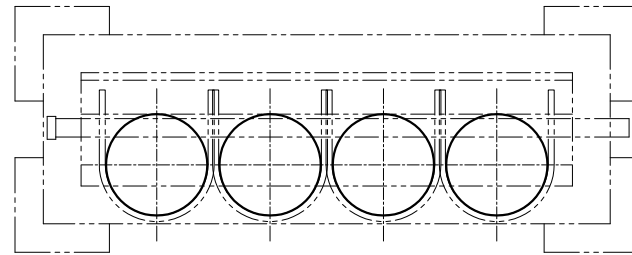
D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（廃棄物処理建物））（当該系統の申請範囲）

工事計画認可申請		第9-3-2-2-3-6図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(廃棄物処理建物)) (その6)	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-PG06	1514

1	ハロゲン化物ポンベ*	4	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。

注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-4-1図
島根原子力発電所第2号機	
名称	廃棄物処理建物地下1階北側通路用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KG01 1X04

第 9-3-2-2-2-4-1 図 廃棄物処理建物地下 1 階北側通路用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙
 工事計画記載の公称値の許容範囲

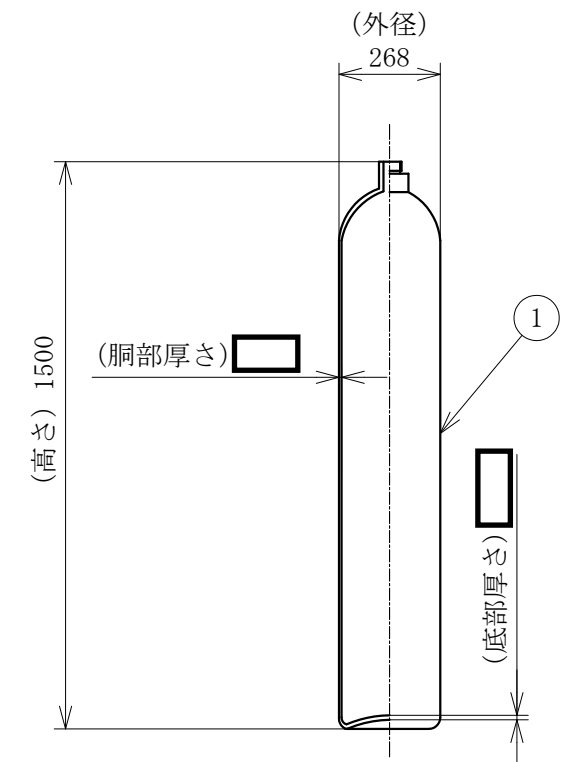
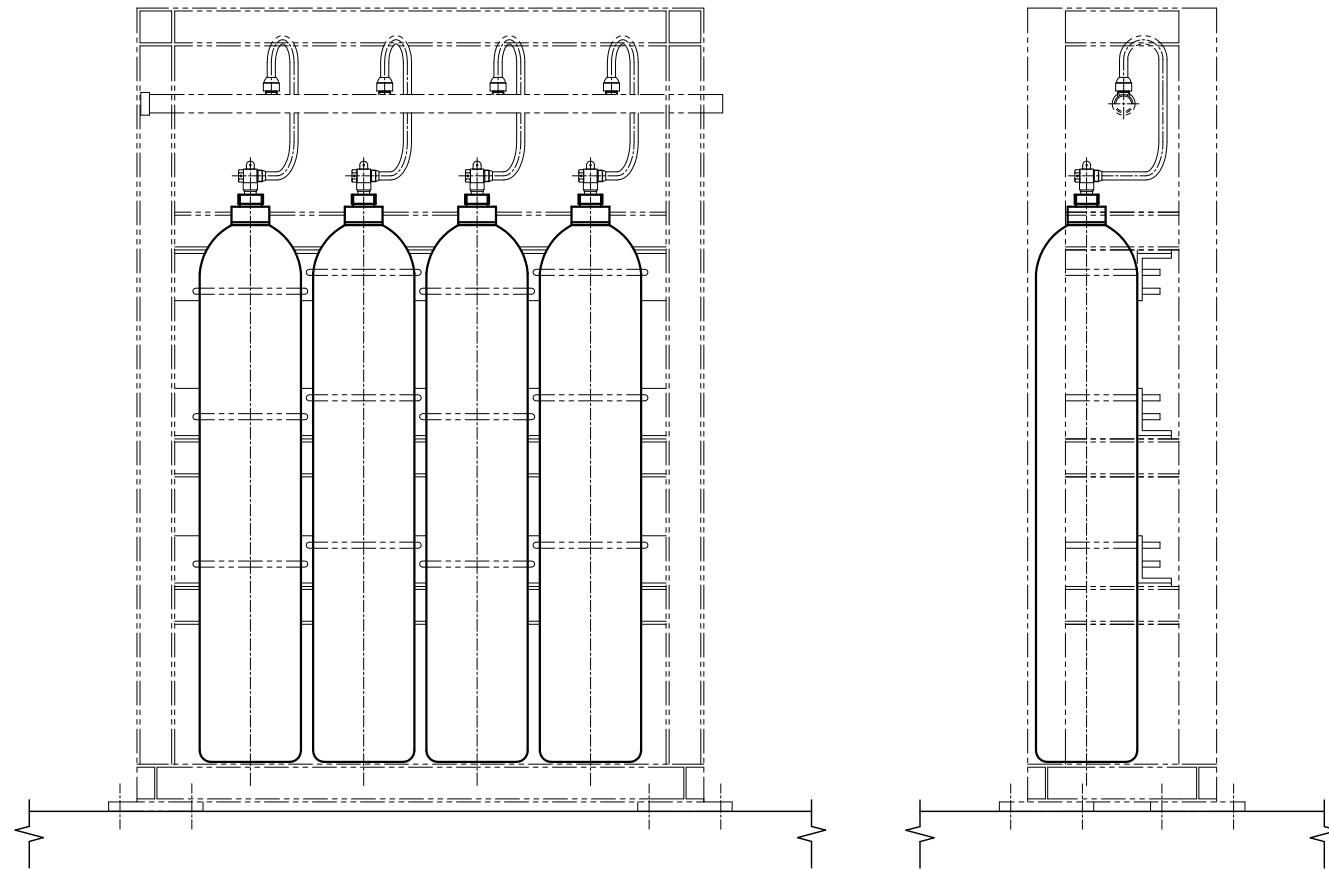
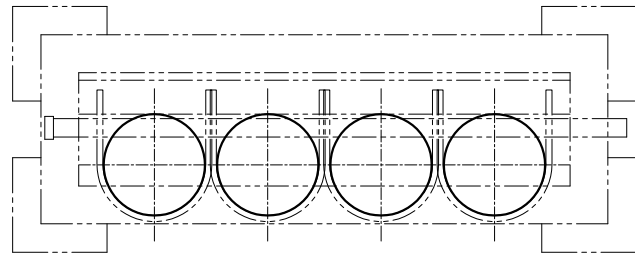
[廃棄物処理建物地下 1 階北側通路用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上
底部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	4	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。





注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2図
島根原子力発電所第2号機	
名称	B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230Vバッテリー室, 充電器室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KG02 1X04

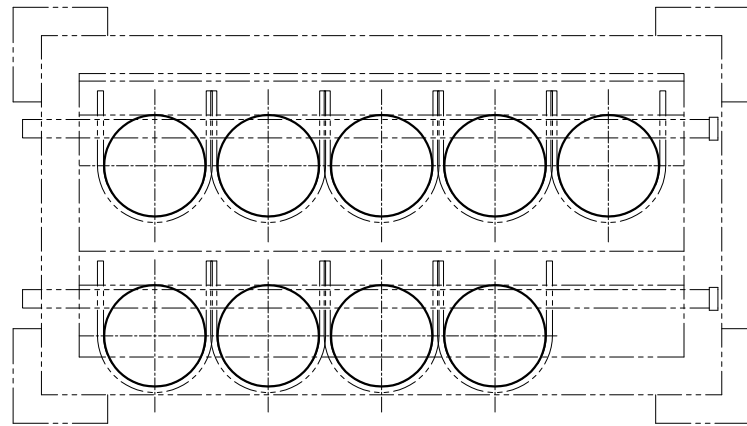
第 9-3-2-2-2-4-2 図 B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[B-計装用電気室, B-バッテリー室, 230V バッテリー室, 充電器室用ハロゲン化物ポンベ]

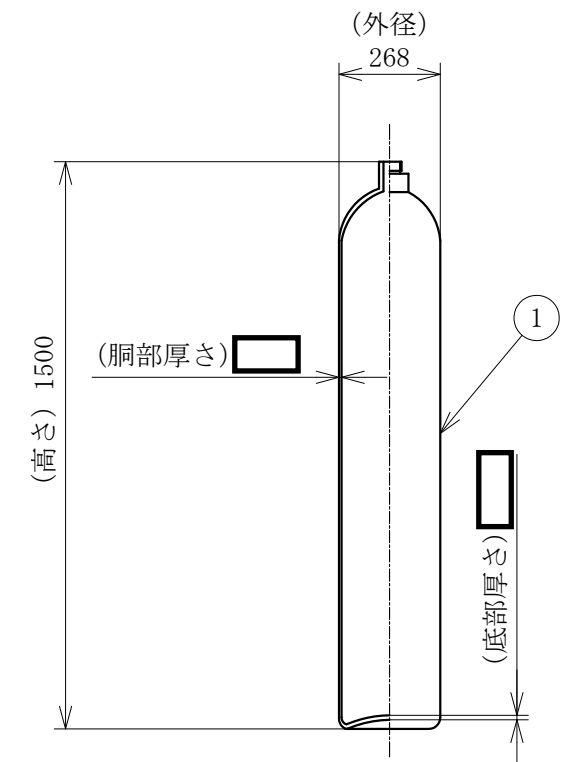
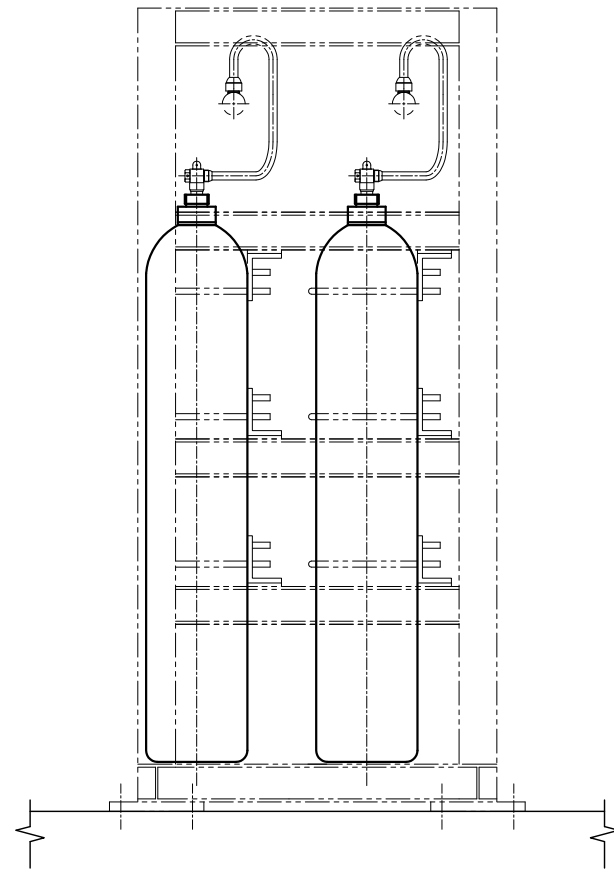
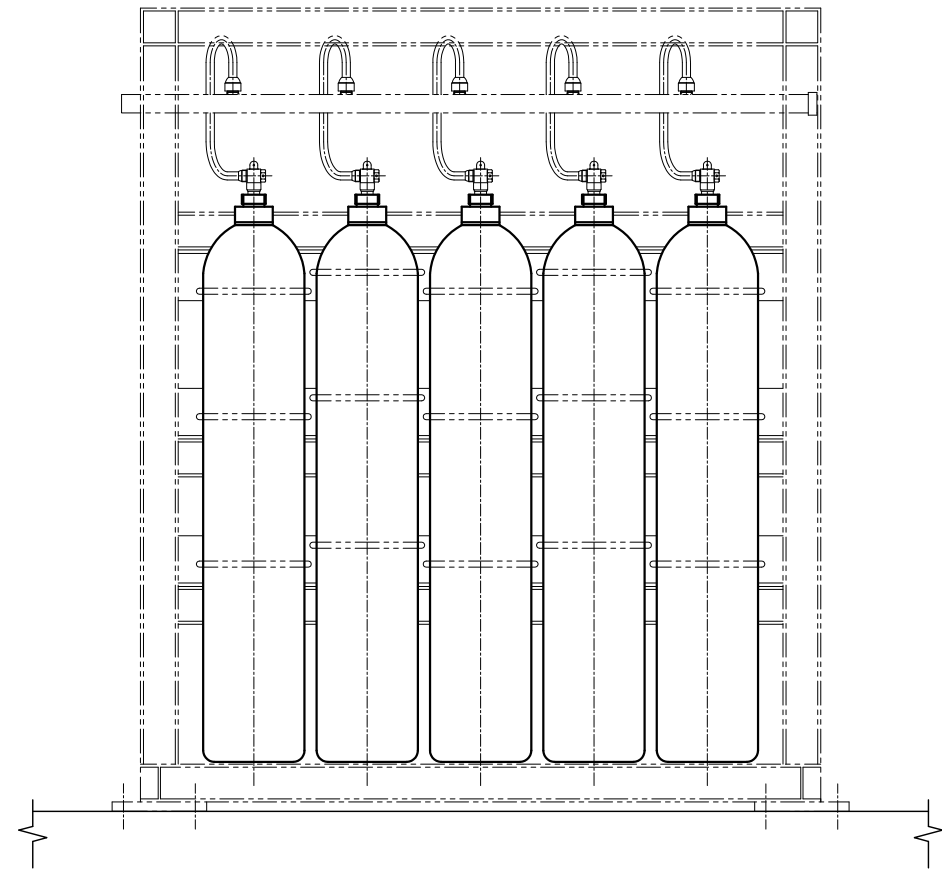
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



1	ハロゲン化物ポンベ*	9	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。





注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-3図
島根原子力発電所第2号機	
名称	廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室, 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KG03 2713

第 9-3-2-2-2-4-3 図 廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室, 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

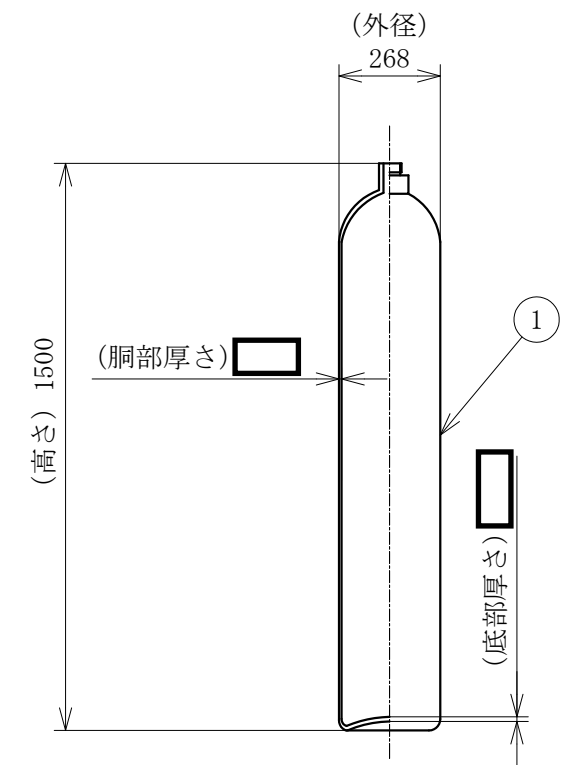
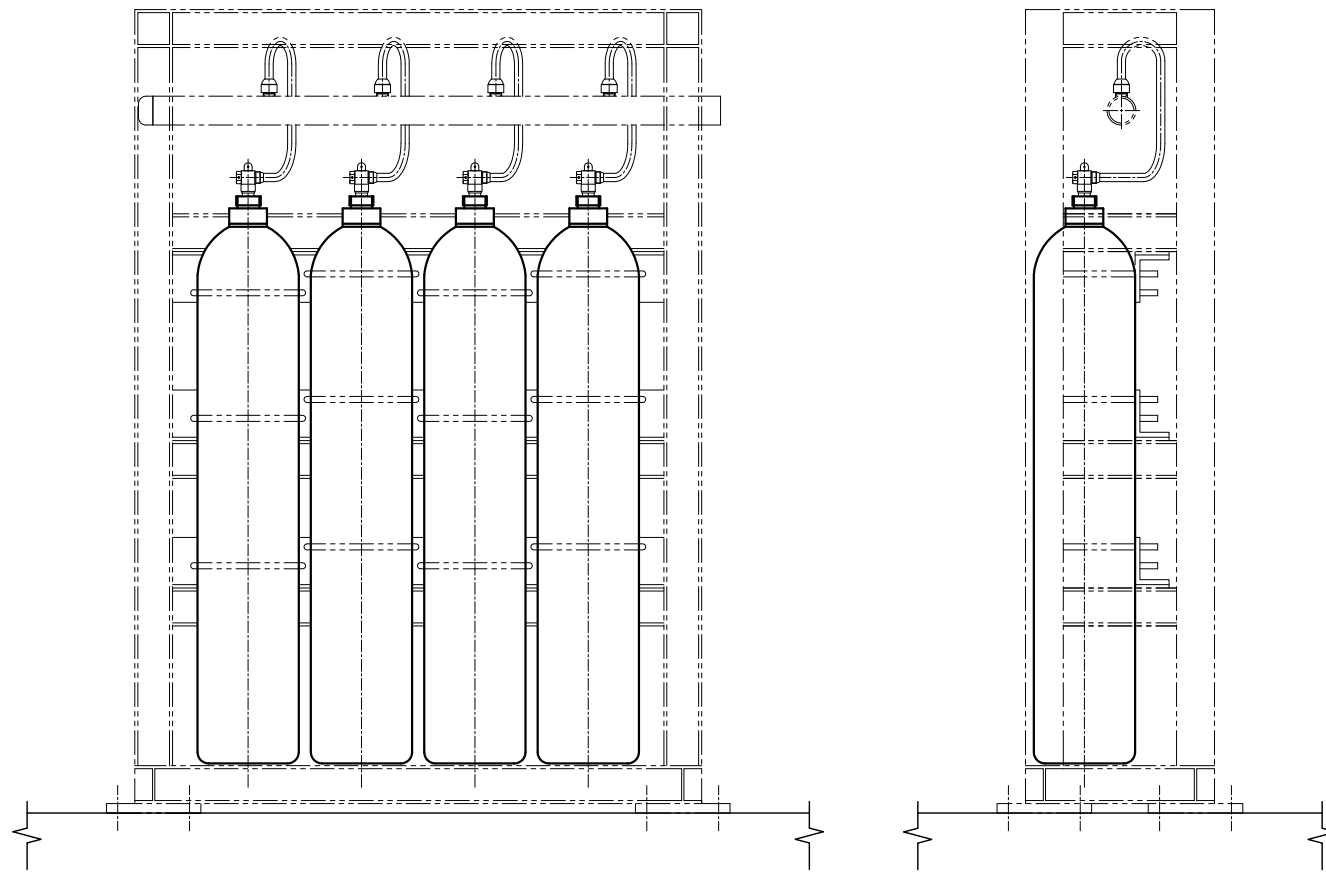
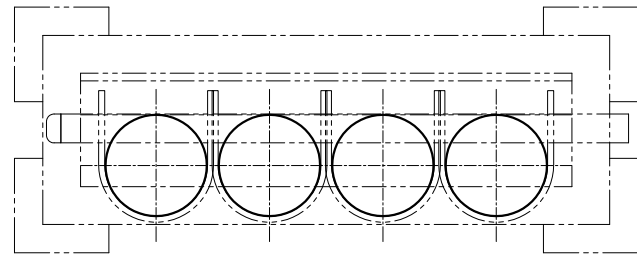
[廃棄物処理建物 A-ケーブル処理室, 廃棄物処理建物 B-ケーブル処理室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	4	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。







注1 : 寸法はmmを示す。
 注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4図
島根原子力発電所第2号機	
名称	ケーブルシャフトスペース (SI) , ケーブルシャフトスペース (SII) , A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KG04 1X04

第 9-3-2-2-2-4-4 図 ケーブルシャフトスペース (S I), ケーブルシャフトスペース (S II), A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

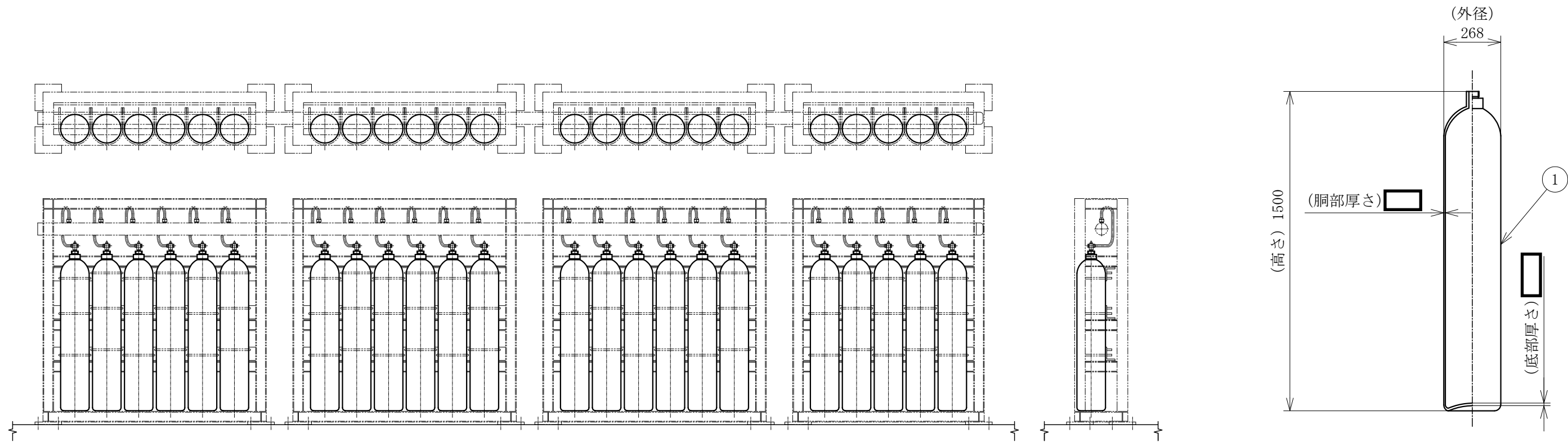
[ケーブルシャフトスペース (S I), ケーブルシャフトスペース (S II), A-計装用電気室, A-バッテリー室, 廃棄物処理建物計算機室, 会議室, 運転員控室, 予備室, 補助盤室前通路用ハロゲン化物ボンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	23	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記*：68ℓ/個を示す。







注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-4-5図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	中央制御室送風機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-KG05	1X04

第 9-3-2-2-2-4-5 図 中央制御室送風機室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

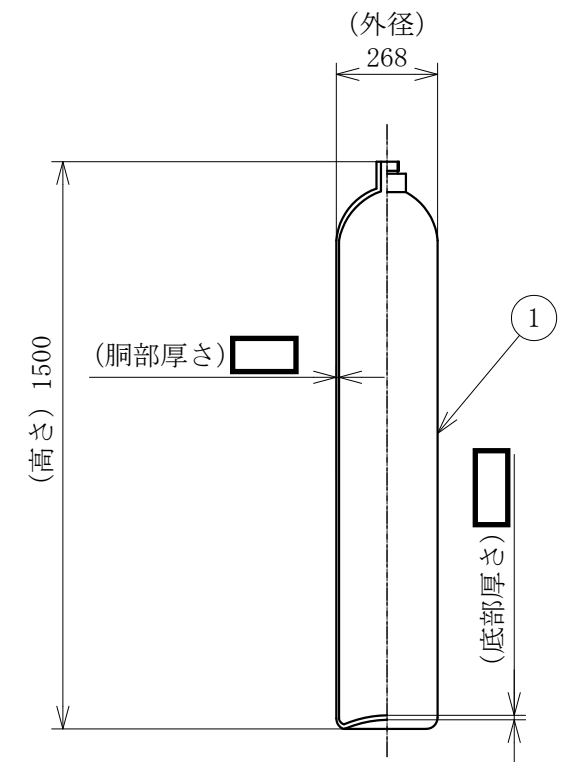
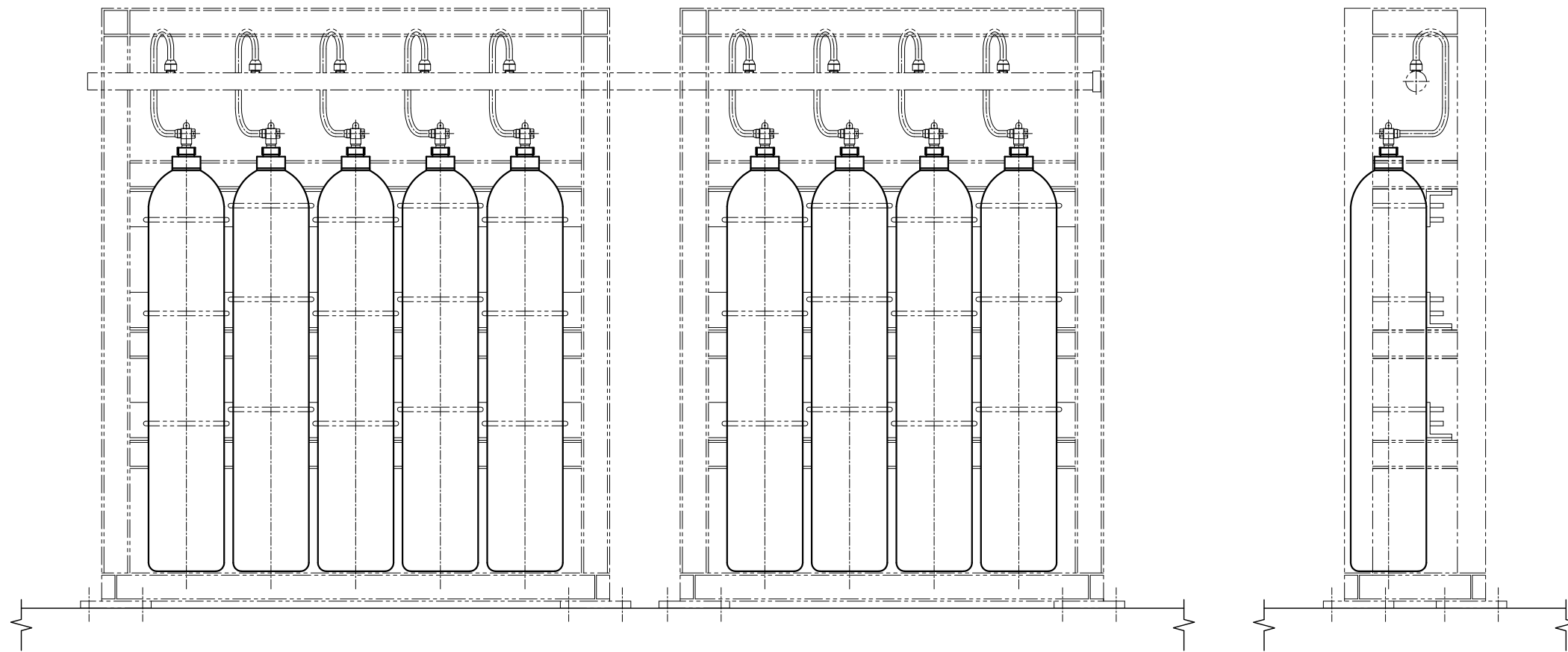
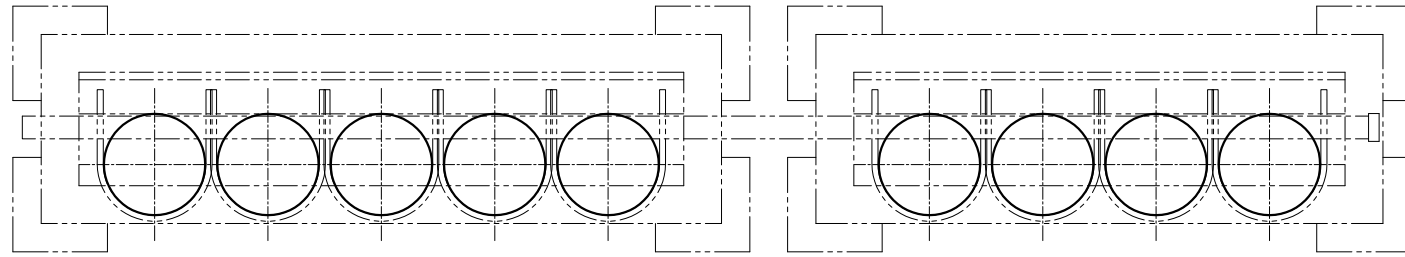
[中央制御室送風機室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	9	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。
 注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-4-6図
島根原子力発電所第2号機	
名称	中央制御室非常用再循環送風機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KG06 1X04

第 9-3-2-2-2-4-6 図 中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙
 工事計画記載の公称値の許容範囲

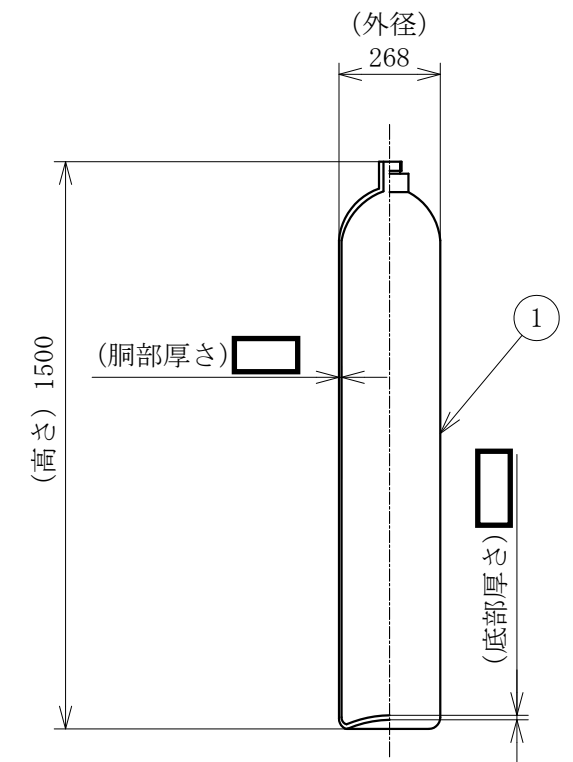
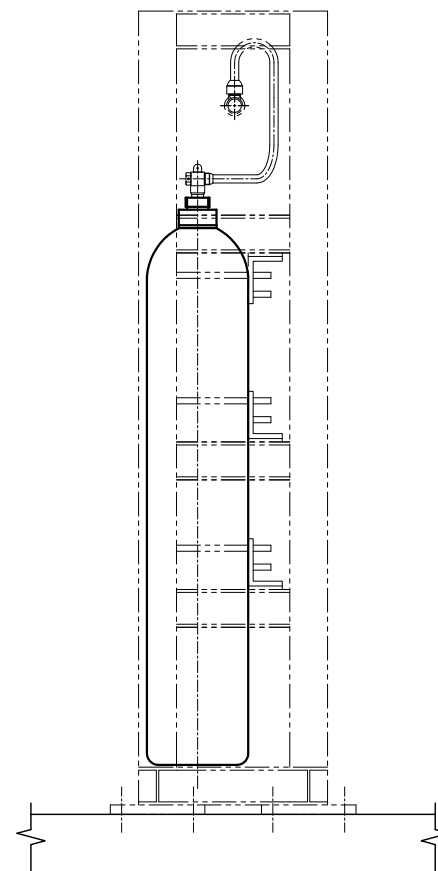
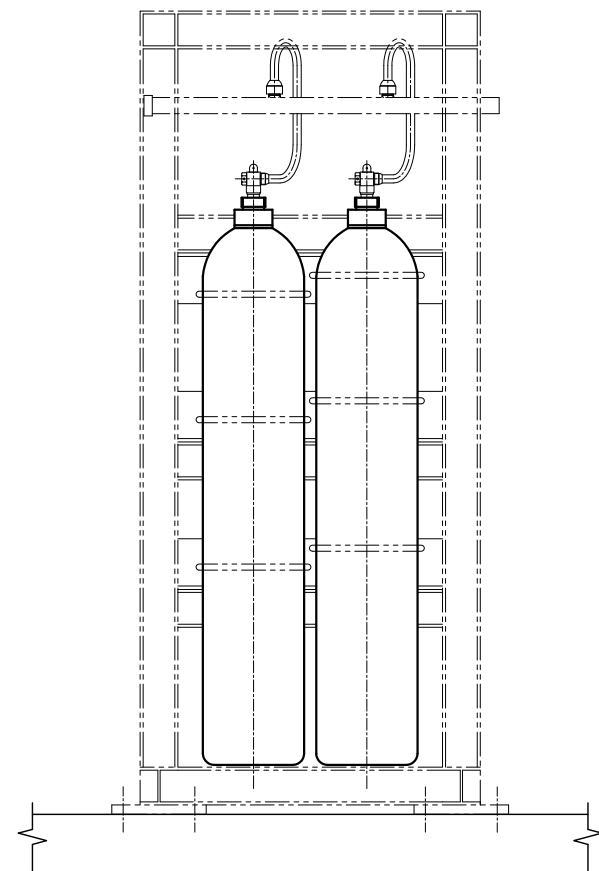
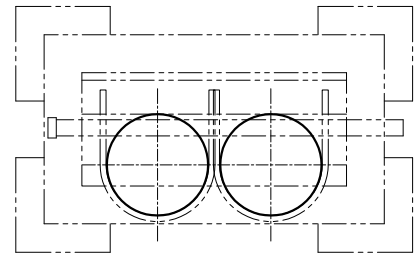
[中央制御室非常用再循環送風機室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上
底部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	2	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。

注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-2-4-7図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	コールド計器室用 ハロゲン化物ポンベ構造図	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-KG07	1X04

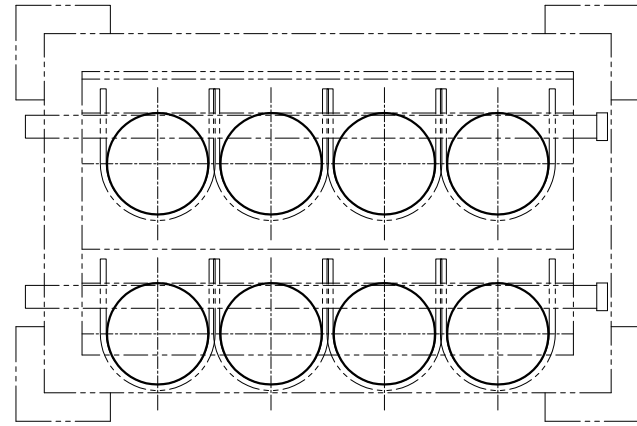
第 9-3-2-2-2-4-7 図 コールド計器室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[コールド計器室用ハロゲン化物ポンベ]

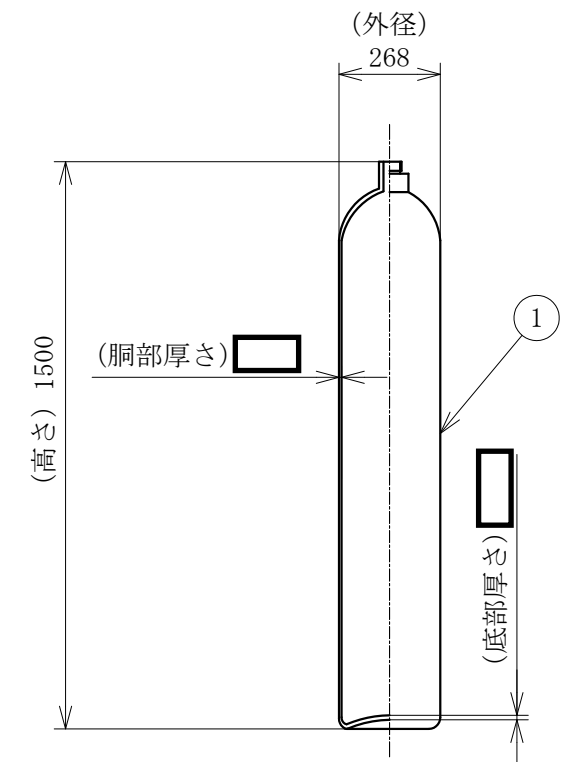
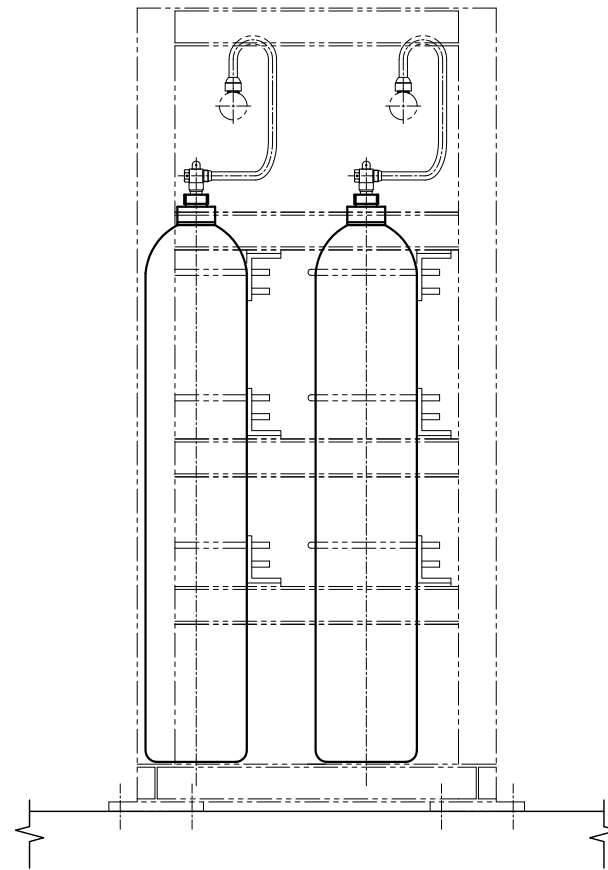
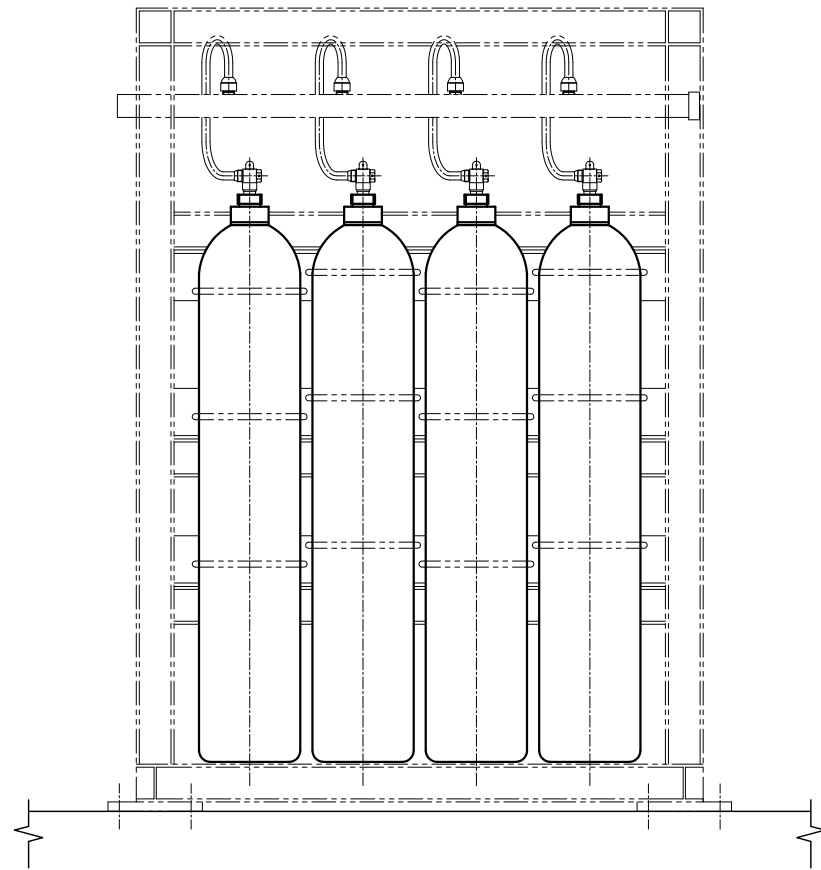
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上
底部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



1	ハロゲン化物ポンベ*	8	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。





注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-8図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	補助盤室用 ハロゲン化物ポンベ構造図	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-KG08	1Y25

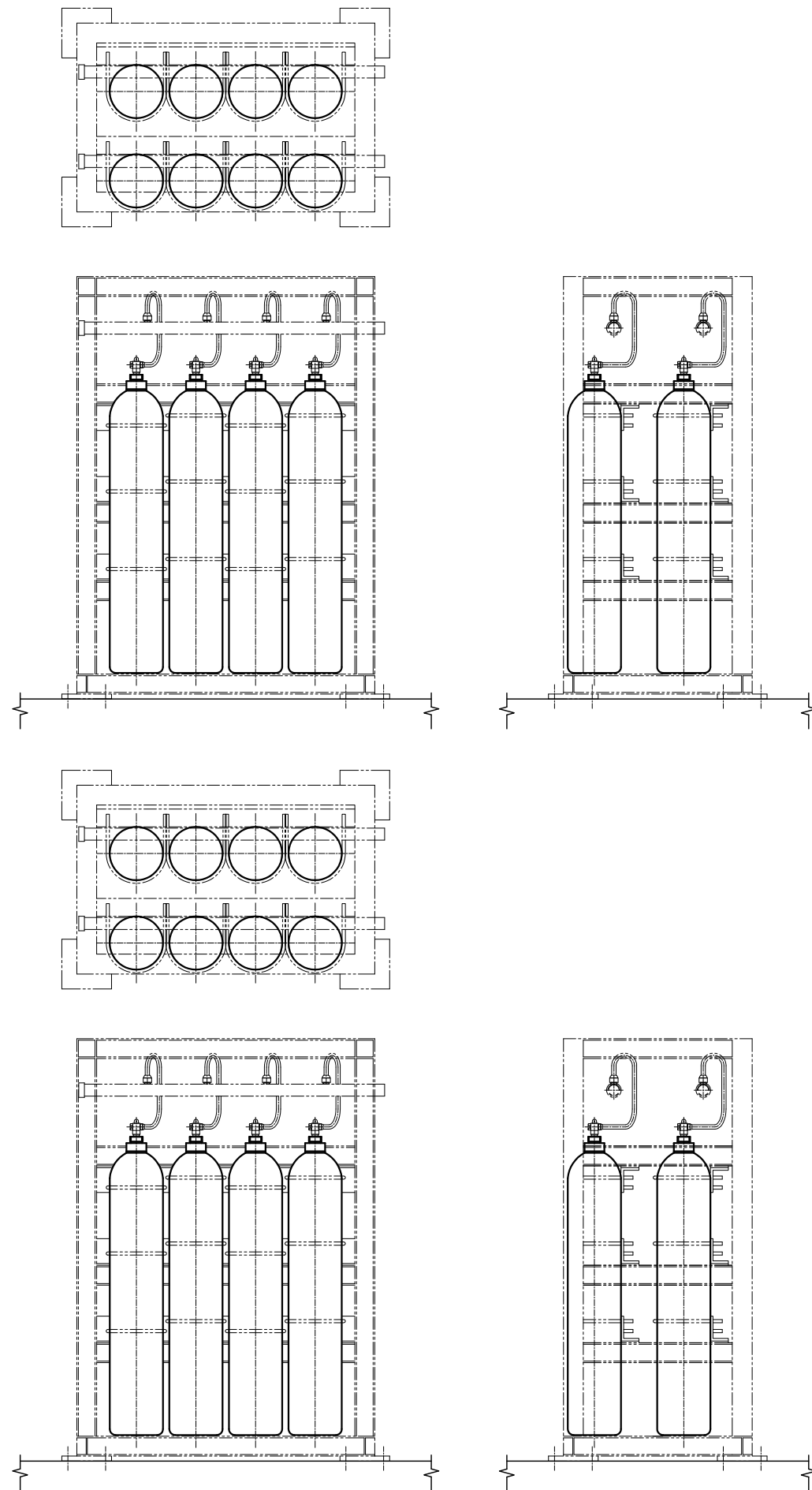
第 9-3-2-2-2-4-8 図 補助盤室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[補助盤室用ハロゲン化物ポンベ]

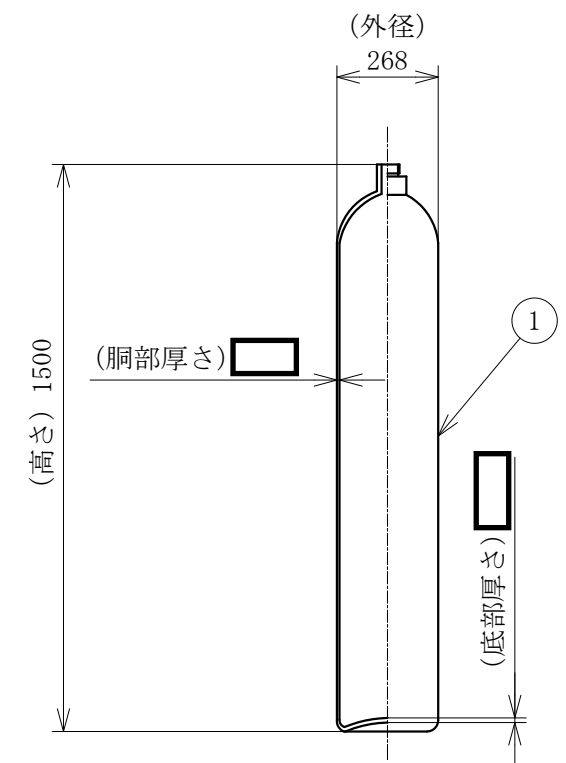
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



1	ハロゲン化物ポンベ*	16	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。





注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-9図
島根原子力発電所第2号機	
名称	廃棄物処理建物西側階段室, ベント処理装置室, 廃棄物処理建物排風機室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KG09 1X04

第 9-3-2-2-2-4-9 図 廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用
ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[廃棄物処理建物西側階段室，ベント処理装置室，廃棄物処理建物排風機室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値